

令和6年度

「地域と学校の連携・協働強化事業」 活動報告書



徳島県教育委員会

はじめに

現代社会は、先行きが不透明で変化が激しい「VUCA（ブーカ）の時代」に突入しています。技術革新やグローバル化の進展、環境問題の深刻化など、社会は日々変容を遂げており、今を生きる子供たちは、これまでとは異なる価値観や課題に向き合うことが求められています。そのため、教育の在り方も大きく変わり、「未来社会の創り手」としての力を育むことが重要視されています。

こうした時代において、本県では、心豊かでたくましく生きる子供を育むための重要な柱として、「地域学校協働活動」を積極的に推進しています。

「地域学校協働活動」は、地域全体が一体となって子供たちの学びや成長を支えるものです。地域の皆様が学校運営や教育活動に関わることで、学校と地域のつながりが深まり、子供たちは社会の中で支えられながら成長することができます。例えば、地域の方々による放課後の学習支援や、キャリア教育への協力、防災・環境活動など、多岐にわたる協働の取組が広がっています。このような活動を通じて、地域の活性化や世代間交流が促進され、地域全体が「学びの場」となっていくことを期待しております。

本報告書は、様々ある「地域学校協働活動」の中でも、放課後における子供の安全・安心な居場所を確保し、多様な学びや体験活動を提供する「放課後子供教室推進事業」、学習活動や環境整備などの学校教育活動を支援する「地域ぐるみの学校支援事業」、週末や長期休業中の体験活動等の充実を図る「週末等の教育支援体制構築事業」について、文部科学省「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金（学校を核とした地域力強化プラン）」のうち「地域と学校の連携・協働体制構築事業（兼徳島県地域と学校の連携・協働強化事業）」を活用した取組をまとめたものです。今後の取組のさらなる推進と充実に向けて御活用いただければ幸いです。

子供たちは「地域の宝」であり未来そのものです。県教育委員会といたしましては、今後も地域の活動をサポートし、徳島教育大綱に掲げられた「地域・家庭・学校が連携し、協働する教育の推進」にしっかりと取り組んでまいります。

最後になりましたが、本報告書を作成するにあたり、御協力をいただきました関係者の皆様方に心から感謝申し上げます。

令和7年3月

徳島県教育委員会生涯学習課長 新開 弓子

目 次

はじめに

放課後子供教室推進事業		
徳島市	新町小学校放課後子ども教室	2
鳴門市	撫養クラブ子ども教室	3
	黒崎っ子教室	4
	一小キッズ教室	5
	里浦のびっこ教室	6
	なるにしキッズ教室	7
	明神キッズ教室	8
	大津西放課後子ども教室	9
	堀南キッズ教室	10
小松島市	千代放課後子ども教室	11
	芝田放課後子ども教室	12
	新開放課後子ども教室ポコ	13
美馬市	江原南小学校区放課後子供教室	14
	江原北小学校区放課後子供教室	15
	脇町小学校区放課後子供教室	16
	岩倉小学校区放課後子供教室	17
	美馬小学校区放課後子供教室	18
	穴吹小学校区放課後子供教室	19
	スポーツクラブ美馬放課後子供教室	20
	小学生バドミントン放課後子供教室	21
	穴吹ソフトテニス放課後子供教室	22
	うだつコミュニティースポーツクラブ子供教室	23
三好市	王地小学校放課後学習教室	24
	榛生放課後子ども教室	25
上勝町	上勝町放課後子供教室（小学生）	26
石井町	石井小学校放課後子ども教室（スマイル）	27
神山町	神山町放課後子ども教室	28
那賀町	鷲敷子どもクラブ	29
	相生子どもクラブ	30
	木頭子どもクラブ	31
牟岐町	牟岐町放課後子供教室	32
海陽町	海陽町放課後子ども教室（海南子ども館）	33
	海陽町放課後子ども教室（海部っ子）	34
	海陽町放課後子ども教室（ドリームスクール鈴が峰）	35

北島町	北島わくわくキッズスクール	36
板野町	板野町放課後子供教室「東っこ」	37
	板野町放課後子供教室「西っこ」	38
	板野町放課後子供教室「南っこ」	39
つるぎ町	つるぎ町放課後子ども教室	40
東みよし町	東みよし町放課後子ども教室（加茂小）	41
	東みよし町放課後子ども教室（三庄小）	42

地域ぐるみの学校支援事業

徳島市	南井上小学校区地域学校協働本部	44
小松島市	小松島中学校区地域学校協働本部	45
	小松島南中学校区地域学校協働本部	46
美馬市	江原中学校区地域学校協働本部	47
	脇町中学校区地域学校協働本部	48
	岩倉中学校区地域学校協働本部	49
	美馬中学校区地域学校協働本部	50
	三島中学校区地域学校協働本部	51
	穴吹中学校区地域学校協働本部	52
	美馬地域未来塾	53
三好市	三野中学校区地域学校協働本部	54
	池田中学校区地域学校協働本部	55
	山城・西祖谷中学校区地域学校協働本部	56
	井川中学校区地域学校協働本部	57
	東祖谷中学校区地域学校協働本部	58
	三好地域未来塾	59
勝浦町	勝浦町学校支援地域本部	60
上勝町	上勝町放課後子供教室（中学生）	61
石井町	石井町地域ぐるみの学校支援事業運営委員会	62
松茂町	松茂町地域学校協働本部	63
つるぎ町	つるぎ町地域学校協働本部・つるぎ町地域未来塾	64

週末等の教育支援体制構築事業

三好市	楽しく学ぶ絵画教室	66
松茂町	松茂町子どもカルチャー教室	67
徳島県	城ノ内うっちーな体験塾	68

巻末資料	令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰	
------	--	--

徳島県立板野支援学校学校運営協議会
徳島県立板野支援学校地域学校協働本部

池田中学校学校運営協議会
池田中学校サポーターズクラブ

放課後子供教室推進事業

新町小学校放課後子ども教室

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	新町小学校 1～3年生	登録人数	20人
活動日数	年間76日程度	活動日・時間	月・水・金曜 14:30～16:30		
活動場所	新町小学校(余裕教室・運動場)		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	小学校教諭有資格者
協 働 活 動 リ ー ダ ー	11	教員OB、地域住民、PTA
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	55	教員OB、地域住民、PTA
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	33	NPO法人

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・学習活動(宿題、読書など)
- ・日本の伝統的な遊び
(こま回し、けん玉、紙鉄砲、輪投げ、ビー玉、おはじき、折り紙、切り絵、だるま落とし、粘土、紙芝居など)
- ・その他の屋内遊び
(ブロック、積み木、ぐらぐらゲーム、ドミノ、オセロ、ジグソーパズル、お絵描き、知育玩具、バルーンアート、人形遊び、ボードゲーム、ロケット遊びなど)
- ・体を鍛える遊び(サッカー、鬼ごっこ、ホッピング、バドミントン、ジャングルジムなど)
- ・その他の屋外活動(虫探し、ビオトープでの自然観察など)
- ・阿波踊り、クリスマス会、誕生日当てクイズ、花かご作り、ストロー笛、手遊び(和楽器演奏)

<工夫していること>

- ・運動場での活動の際には学年別に色分けしたゼッケンを着用し行動を把握している。
- ・ボランティア(NPO法人眉山大学)への協力・支援依頼。
- ・熱中症対策(夏季の水分補給)について職員室との連携。
- ・児童発達支援・放課後等デイサービスの児童との交流。
- ・雨天時の活動内容や、子供たちの安全管理等について協議している。

○成果と課題

<成果> ・宿題を確実に終わることができている。 ・外国人ボランティアとの交流。 ・地域住民(高齢者)と子供との交流。 ・地域の力で地域の子供を育てるという意識づくりと実践。 ・ボランティアの尽力により、子供たちが屋外でも活発に活動できている。	<課題> ・指導者の高齢化(若年層の人員不足)。 ・学年ごとに授業終了時刻が異なり、参加時刻が揃わないため、外部講師を依頼して行う活動が困難である。 ・活動内容の更なる充実(特に雨天時)。 ・災害時の避難行動や対応の強化。
---	---

○活動の様子



阿波踊り



手遊び(和楽器演奏)



クリスマス(塗り絵)

撫養クラブ子ども教室

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	撫養小学校 1～6年生	登録人数	150人
活動日数	年間140日	活動日・時間	月・火・木曜 15:00～17:00 土曜 9:00～11:00		
活動場所	撫養小学校		放課後児童クラブとの連携		校内 交流型

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	PTA役員経験者
協 働 活 動 リ ー ダ ー	11	地域住民、大学生、大学院生
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	14	地域住民、大学生、大学院生
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	30	地域住民、大学生、大学院生、PTA

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

・リズム体操教室 ・英語教室 ・卓球教室 ・おやつ教室 ・スタディ教室
 ・キッズ運動教室 ・阿波踊り教室 ・ニュースポーツ教室 ・ラグビー教室
 ・ティーパーン教室 ・工作教室 ・ハンドボール教室 ・体操教室
 ・花植え ・資源ゴミ回収 ・夏祭り ・クリスマス会

<工夫していること>

・集団生活の基本的ルールは守るように呼びかけている。
 ・のびのびと児童が活動できる居場所作りを目標にしている。

○成果と課題

<成果> ・地域の公民館長や阿波踊り有名連の踊り子、ダンスクラブのインストラクター、鳴門教育大学の留学生などによる協力・指導を受け、楽しくて内容の濃い活動ができています。	<課題> ・学年や男女の違いによって興味や関心が違うので、毎回提供する内容に悩んでいる。
---	--

○活動の様子



有名連の踊り子に指導を受けた活動



PTAの協力を得たクリスマス会の活動

鳴門市	放課後子供教室
黒崎っ子教室	

開始年度	平成26年度	対象学校区・学年	黒崎小学校 1～6年生	登録人数	63人
活動日数	年間76日	活動日・時間	木曜 14:30～16:30 土曜 9:00～12:00 日曜 9:00～14:00		
活動場所	黒崎小学校(体育館・図書室・図工室) 黒崎地区コミュニティセンター		放課後児童クラブとの連携		校内交流型

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	PTA役員経験者
協 働 活 動 リ ー ダ ー	7	PTA役員経験者、スポーツクラブ指導者
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	5	PTA役員経験者
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	15	シルバー大学校OB、地域住民

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・キッズ運動教室(ニュースポーツなど、毎週違った内容で実施)
- ・絵画教室(学校の夏休みの課題に取り組む)
- ・ハンドボール教室(土曜日や日曜日に大学生やハンドボール経験者に教えてもらう)
- ・お菓子教室(ケーキやクッキーなどを作る)
- ・手芸教室(季節に合わせた手作りの飾りやアクセサリを作る)
- ・プログラミング教室(タブレットやパソコンを使いゲームなどを作成し、みんなにプレゼンする)

<工夫していること>

- ・低学年が参加しやすい体育館で行うキッズプログラムは、毎回違った指導者がニュースポーツやパドミントン、テーパーボールなど児童が楽しめるプログラムを用意している。
- ・地域の活動に児童が参加し、黒崎っ子教室の活動を多くの方に知ってもらえるように工夫している。

○成果と課題

<成果> ・地域の活動に黒崎っ子教室の児童が参加して、活動の写真を展示したり、練習した歌を披露したりすることを通して、地域のたくさんの方にも黒崎っ子教室の活動を知っていただくことができた。	<課題> ・スポーツのプログラムでは、活発に動きたい児童と、そうではない児童に分かれてしまい、みんなが楽しく参加できるようにする工夫が必要になっている。
--	--

○活動の様子



お菓子教室



キッズ教室(地域のイベントに参加)

一小キッズ教室

開始年度	平成28年度	対象学校区・学年	鳴門市第一小学校 1～6年	登録人数	96人
活動日数	年間35日	活動日・時間	木曜 15:00～16:30		
活動場所	鳴門市第一小学校(体育館)		放課後児童クラブとの連携		校内交流型

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	PTA役員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	3	PTA役員経験者、スポーツクラブ指導者
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	7	PTA、PTA経験者、地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	7	シルバー大学校OB

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・キッズ運動教室(体を使う楽しい遊びやスポーツのプログラム)
- ・ニュースポーツなど、毎週違った内容の教室
- ・夏休み絵画教室

<工夫しているところ>

- ・参加者が多いため、安全面を考慮し、低学年・高学年に分かれて活動している。
- ・毎回違ったプログラムを考え、色々な道具を使ったり、ゲストを迎えたり、児童のリクエストに答えてプログラムを考えたりするなど、みんなで楽しく参加できる種目を増やしている。

○成果と課題

<成果>

- ・活動中のルールを守って仲良く過ごすことができるようになった。
- ・競技のスポーツもルールを理解して活動できるようになり、投げる・受ける・走るなどの基本的な運動が上達してきている。

<課題>

- ・競技のスポーツをしていると、楽しく参加しているものの、次第に勝敗にこだわりはじめる児童もおり、気持ちがぶつかる時があるため、チーム分けを工夫する必要がある。
- ・性別や学年、競技の内容等、児童によっては参加しづらいことがある。場合に応じた対応が必要。

○活動の様子



キッズ教室



しゃぼん玉

鳴門市	放課後子供教室
里浦のびっこ教室	

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	里浦小学校 1年生～6年生	登録人数	39人
活動日数	33日	活動日・時間	木曜 14:30～16:30		
活動場所	里浦小学校(体育館)		放課後児童クラブとの連携		校内交流型

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	PTA役員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	2	PTA役員、スポーツクラブ指導者、地域住民
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	5	PTA役員経験者、地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	20	シルバー大学校OB、地域住民

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・キッズ運動教室
- ・ラグビー・ニュースポーツなどの遊びプログラム、毎週違った内容の教室
- ・児童クラブ合同防災訓練
- ・夏休み宿題絵画教室

<工夫していること>

- ・低学年の日、高学年の日に分けて活動している。
- ・児童が飽きてこないよう毎回違った内容となるよう工夫をしている。

○成果と課題

<成果>

- ・児童同士で教え合ったりしながら、支援員も児童の自主性を尊重し見守るようにしている。
- ・低学年と高学年が分かれて活動することで、体力差が少なくなり楽しく活動出来ている。
- ・児童クラブとの防災訓練も定期的に行う事ができるようになった。

<課題>

- ・跳び箱やマットなどが置いてある体育館は危険が多く、体育館使用の注意事項を毎回開始前に確認し、事故のないように努めていく。

○活動の様子



キッズ運動教室



キッズ教室

なるにしキッズ教室

開始年度	平成27年度	対象学校区・学年	鳴門西小学校 1～6年	登録人数	43人
活動日数	年間77日	活動日・時間	月・火・木曜 15:00～16:30		
活動場所	鳴門西小学校(体育館)、鳴門ウチノ海総合公園、キッズステーションNARUTO		放課後児童クラブとの連携		校内交流型

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	PTA役員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	3	PTA役員経験者、スポーツクラブ指導者
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	4	PTA、PTA経験者、地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	30	シルバー大学校OB、鳴門高校生

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・キッズ運動教室(ラグビー、ニュースポーツなど、毎週違った内容で実施)
- ・ハンドボール教室
- ・工作教室(自然素材を使った工作など)
- ・夏休み絵画教室
- ・手芸教室

<工夫しているところ>

- ・毎回の参加者が多人数になっているが、グループ分けをして楽しく遊べるよう工夫している。
- ・活動がマンネリ化しないようなプログラムを用意している。

○成果と課題

<成果>

- ・児童がアイデアを出し合って楽しく遊ぶ工夫が出来るようになっている。
- ・毎週行っているハンドボールでは目標を持ってチャレンジ出来るようになり、競技を楽しむことができている。

<課題>

- ・学校の時間割の変更で、全学年の下校時間が変更になり、木曜日の体育館の使用が難しくなっている。開催曜日を変更すると、参加できない児童が増えるため、今後の検討課題となっている。

○活動の様子



キッズ教室(シャボン玉)



ハンドボール教室

明神キッズ教室

開始年度	令和2年度	対象学校区・学年	明神小学校 1～6年生	登録人数	41人
活動日数	年間16日	活動日・時間	木曜 14:30～17:30		
活動場所	明神小学校(体育館)		放課後児童クラブとの連携		校内交流型

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	PTA役員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	1	スポーツクラブ指導者
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	3	PTA役員経験者
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	15	シルバー大学校OB、高校生、地域の方

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・キッズ運動教室(毎回違った内容のプログラムを行っている)
- ・ティールール
- ・ラグビー
- ・ニューススポーツ、レクリエーション
- ・バスケットボール

<工夫していること>

- ・毎回違ったプログラムで楽しく活動できるようにしている。
- ・体育館の使用の仕方を大きく模造紙に書き、危険なことをしないように伝えている。
- ・低学年(1年生・2年生)の日、高学年(3年生以上)の日に分かれて活動している。

○成果と課題

<成果>

- ・毎回楽しみにしている児童が増えてきている。
- ・身体を動かす事が苦手な児童も、体育館で遊びプログラムに参加することで体力づくりになっている。

<課題>

- ・夏は体育館の気温が高くなり、熱中症などの心配がある。体育館の使用を見合わせるなど、今後の夏の活動に課題がある。

○活動の様子



キッズ教室(ニューススポーツ)



キッズ教室(レクリエーション)

大津西放課後子ども教室

開始年度	平成18年度	対象学校区・学年	大津西小学校 1～6年生	登録人数	62人
活動日数	年間47日	活動日・時間	第1日曜 13:00～15:00 第1金曜 15:00～16:00 第2火曜 14:30～16:00 第4水曜 14:30～16:00 第3木曜 14:30～16:00		
活動場所	大津西小学校(余裕教室・図書室) 大津中央公民館 大代古墳		放課後児童クラブとの連携		校内 交流型

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	公民館長(行政職員OB)
協 働 活 動 リ ー ダ ー	3	教員OG、社会人
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	9	保育士OG、地域住民
学 習 支 援 員	2	地域住民
ポ ラ ン テ ィ ア	10	地域住民

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

・学びの場 ・将棋教室 ・折り紙教室 ・お菓子作り ・おもちゃ作り
 ・大代古墳公開時説明員 ・囲碁ボール ・クラフト作り

<工夫していること>

・異学年とともに活動し、連帯感を醸成する。
 ・自分自身の活動目的に沿った活動方法の指導に努めている。

○成果と課題

<成果> ・お菓子作りやクラフト作りなど自分の思いとそれを完成させる喜びが養えた。 ・地域の歴史や自分の住む土地への関心が深まった。	<課題> ・指導者の固定化、高齢化。 ・活動内容が固定している。
--	--

○活動の様子



折り紙教室



大代古墳一般公開説明

堀南キッズ教室

開始年度	平成30年度	対象学校区・学年	堀江南小学校 1～6年生	登録人数	18人
活動日数	年間19日	活動日・時間	木曜 14:30～16:30		
活動場所	堀江南小学校(体育館) 児童館学習室		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	PTA役員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	3	PTA役員経験者、スポーツクラブ指導者
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	2	PTA役員経験者
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	15	シルバー大学校OB、地域住民

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・キッズ運動教室
(ラグビー、ニュースポーツなど毎週違った内容で実施)
- ・工作教室(自然素材などの工作)
- ・夏休み絵画教室

<工夫していること>

- ・キッズ運動教室では、毎回違った遊びのプログラムを行うように、用具などを工夫して活動している。

○成果と課題

<成果>

- ・体育館での遊びのルールを決めるなどして、異年齢の児童が楽しく参加できるようになっている。
- ・体育館の運動プログラムは児童に人気があり、何にでもチャレンジするようになってきている。

<課題>

- ・学年によって体力差があり、同じプログラムでは物足りなさを感じる児童が見受けられるが、全校児童が少ない学校であるため、低学年・高学年に分けると参加者数が少なくなり、みんなが楽しめるプログラムの実施が難しくなる。

○活動の様子



キッズ教室



絵画教室

千代放課後子ども教室

開始年度	平成27年度	対象学校区・学年	千代小学校 1～6年生	登録人数	8人
活動日数	年間 141日	活動日・時間	月～木曜 15:00～17:00(予備日 金曜)		
活動場所	泰地総合センター		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	保育士経験者(保育士・幼稚園教諭資格あり)
協 働 活 動 リ ー ダ ー	7	・全日本着物コンサルタント協会着装、礼法、認定講師 ・小松島市外部人材活用事業講師(読み聞かせ) ・徳島県読書振興協議会から表彰(読み聞かせ) ・日本プロサーフィン連盟ショートボード公認プロサーファー認定 ・体幹トレーナー ・徳島県硬筆書道研究会常任理事 ・徳島県美術展書道特選受賞経験あり
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	4	民生委員・地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・月曜日 マナー教室、硬筆教室
- ・火曜日 硬筆教室・図画・工作教室
- ・水曜日 絵本・工作教室、キッズトレーニング教室
- ・木曜日 習字教室、将棋教室
- ・その他 宿題、四季折々のイベント、地域老人会・神社継代会等のイベント
防災・防火訓練、交通安全教室

<工夫していること>

- ・一人ひとりと関わる時間を大切に、家庭的な雰囲気の中で、安心して活動に参加できるようにした。
- ・防災手帳の作成、災害マップや利用施設内を見て避難方法や経路をみんなで考え、防災意識を普段からもてるようにした。

○成果と課題

<成果> ・夏休みの課題を子供たちと考え取り組むことができた。途中になったものは家庭で保護者としてすることで積極的に取り組むことができた。 ・各教室と連携を図りながら一つの大きな作品を作り上げることができた。	<課題> ・指導者の高齢化による人材不足。 ・日によって子供のやる気ややりたいことが変わってしまうため、状況に合わせて声掛けや活動内容の見直しをすることがあった。
--	---

○活動の様子



習字教室 夏休みの課題練習



絵本・工作教室 かき氷貯金箱作り

芝田放課後子ども教室

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	芝田小学校 2～6年生	登録人数	29人
活動日数	年間70日	活動日・時間	毎木曜・月1回水曜 15:00～17:00 毎月2～3回 曜日不規則 15:00～17:00 月1回土曜 10:00～12:00		
活動場所	芝田公民館		放課後児童クラブとの連携		連携型

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	地域住民
協 働 活 動 リ ー ダ ー	9	教員OB、地域住民
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	11	教員OB、地域住民、小学校教諭有資格者
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・硬筆教室・書道教室・川柳教室・生花教室・工作教室・手話教室
- ・将棋教室・自然観察・バルーンアート教室
- ・防災学習
- ・年1回しめ縄作り
- ・公民館文化祭への参加

<工夫していること>

- ・工作教室では教材は提供し、各自、自由に創作する。

○成果と課題

<成果> ・書道教室では2年生から書道を始め、1年経ち上達してきた。 ・手話教室では手話で自己紹介ができる。 ・将棋教室では粘り強く対戦している。	<課題> ・指導者の高齢化による人材の確保が必要。 ・児童数が減少し茶道教室が中止になった。来年度は新一年生を迎え、教室を再開したい。
--	---

○活動の様子



書道教室



バルーンアート教室

新開放課後子ども教室ポコ

開始年度	平成31年度	対象学校区・学年	新開小学校 1～6年生	登録人数	32人
活動日数	年間43日	活動日・時間	木曜 15:00～18:30 長期休暇中にも数日		
活動場所	小松島チャペル 新開会館 新開小学校校庭、体育館		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	塾経営、元民生委員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	2	元中学校教員、元児童館勤務
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	5	学校教員、地域住民
学 習 支 援 員	1	地域住民
ボ ラ ン テ ィ ア	3	高校生

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・学習支援、体験学習、自由遊び等を通して、児童に安心できる安全な居場所を提供している。
- ・体験学習は児童たちが自ら考えて工夫することを多く取り入れ、特にポコまつりではお店を学年別に出し、そのために計画、買い物、運営などをすべて児童の自主的な働きにゆだねている。
- ・工作やクッキングも児童たちが想像力を駆使して楽しく取り組めるようにしている。
- ・自由遊びも校庭や体育館でおもいっきり、からだを使って遊ばせている。
- ・長期休暇中のさまざまなイベントにも児童たちの創意工夫が活かされ、彼らの成長につながるようにと願いながら活動している。

<工夫していること>

- ・スタッフミーティングを取組みの前後に持ち、児童たちのことをスタッフ全員が把握できるようにし、月1回の定例会では方針について、時間を取って考えを出し合っている。
- ・毎月『ポコだより』を全校生に配布し、『不登校の子どもを持つ親の会』や『セミナー』のお知らせもしている。

○成果と課題

<成果> ・ある家庭と月1回のカウンセリングを持った結果、児童の気になる行動が減った。成果を学校とも共有し、変容を喜んでいる。 ・ポコを開催して6年目だが、児童たちが一つの大きな家族のような関係を築いてきていると思う。	<課題> ・参加したい児童が増えてきているが、場所が狭いことは大きな課題である。 ・またスタッフも年配の方が多く、大学生くらいの若い力を必要としている。
---	--

○活動の様子



クリスマス会（パフェ作り）



夏のお楽しみ会（かき氷）

江原南小学校区放課後子供教室

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	江原南小学校 1～3年生	登録人数	62人
活動日数	年間34日	活動日・時間	木曜 15:00～17:00 偶数月の第四土曜 9:00～11:00		
活動場所	江原南小学校(図書室・音楽室・家庭科室・英語教室)		放課後児童クラブとの連携		校内交流型

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	教員OB
協 働 活 動 リ ー ダ ー	4	教員OB
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	6	地域住民
学 習 支 援 員	0	
ポ ラ ン テ ィ ア	1	地域住民

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・木曜日は学習の日とし、宿題の完成、読書、レクリエーション等を主に活動している。
- ・偶数月の第4土曜日はスポーツ・文化の日とし、校外活動、マレットゴルフ、粘土教室、郷土学習等を実施している。

<工夫していること>

- ・児童の自主性・主体性を大切に、スタッフは活動援助を行うよう工夫している。
- ・スポーツ・文化の日は保護者の参加を推奨している。

○成果と課題

<成果> ・児童は楽しく、元気に活動している。 ・保護者にも好評で協力的であり、地域住民の参加も多く、一体となって実施できている。	<課題> ・スタッフの高齢化と後継者不足 ・下校時の安全確保 ・活動の恒常化
---	---

○活動の様子



自主学习



粘土教室

江原北小学校区放課後子供教室

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	江原北小学校 4・6年生	登録人数	4人
活動日数	年間30日	活動日・時間	木曜 15:00～17:00		
活動場所	江原北小学校(教室、体育館)		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 学 校 協 働 活 動 推 進 員	1	PTA役員経験者
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0	
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	2	地域住民・保護者
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	2	地域住民・保護者

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・しめ縄教室
- ・もちつき体験
- ・季節に合った創作活動

<工夫していること>

- ・季節に応じた活動と、昔からの伝統を肌で感じる活動をしている。

○成果と課題

<成果> ・地域の方との交流で児童が色々な年齢の方と接することができた。	<課題> ・児童の減少により、できる活動に制約ができ、今後は参加者をどう増やすかが課題である。
---	--

○活動の様子



お料理教室



しめ縄作り教室

脇町小学校区放課後子供教室

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	脇町小学校 1～6年生	登録人数	106人
活動日数	年間70～80日	活動日・時間	月・木曜 14:00～17:00 夏休み 8:30～12:00		
活動場所	脇町小学校 (図書室、会議室、和室、体育館)		放課後児童クラブとの連携		連携型

役 職 等	人数	属 性 等
地域学校協働活動推進員	1	PTA役員経験者(教員免許有)
協働活動リーダー	8	教員OB、地域住民
協働活動サポーター	6	教員OB、地域住民
学習支援員	0	
ボランティア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・学習活動(宿題、自主学習等)
- ・スポーツ活動(体育館で、ドッジボール、バトミントン、おにごっこ等)
- ・自由学習(空き箱工作、折り紙、お手玉、あやとり等)
- ・夏休み(夏休みの宿題を主に指導)

<工夫していること>

- ・連絡なしに休んでいる児童には家族に確認する。
- ・教室終了時には、使用した机、ドアノブなどの消毒と清掃をしている。
- ・季節に応じた遊び、工作などを取り入れて、児童が興味を持って活動できるようにしている。
- ・児童の入室と退出の時刻と出欠を必ずチェックしている。

○成果と課題

<成果> ・児童、保護者にとって安心で安全な場所になっていると思う。 ・学年の違う児童との交流がよくできている。 ・スタッフ間の相互理解がうまくとれている。	<課題> ・保護者へ欠席などの連絡を徹底したい。 ・指導者の高齢化による人材の確保が必要である。
---	--

○活動の様子



学習の様子



工作活動

岩倉小学校区放課後子供教室

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	岩倉小学校 1～6年生	登録人数	82人
活動日数	年間70～80日	活動日・時間	火・金曜 14:00～17:00 夏休み 8:30～12:00		
活動場所	岩倉小学校 (図書室、会議室、和室、体育館)		放課後児童クラブとの連携		校内 交流型

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 学 校 協 働 活 動 推 進 員	1	PTA役員経験者(教員免許有)
協 働 活 動 リ ー ダ ー	4	教員OB、地域住民
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	10	教員OB、地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	4	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・学習活動(宿題、自主学習等)
- ・スポーツ活動(体育館で、ドッジボール、バトミントン、おにごっこ等)
- ・自由学習(空き箱工作、折り紙、お手玉、あやとり等)
- ・少年野球
- ・夏休み(ポスター、書写等夏休みの宿題を主に指導)

<工夫していること>

- ・連絡なしに休んでいる児童には家族に確認する。
- ・教室終了時には、使用した机、ドアノブなどの消毒と清掃をしている。
- ・季節に応じた遊び、工作などを取り入れて、児童が興味を持って活動できるようにしている。
- ・児童の入室と退出の時刻と出欠を必ずチェックしている。

○成果と課題

<成果>

- ・児童、保護者にとって安心して安全な場所になっていると思う。
- ・学年の違う児童との交流がよくできている。
- ・スタッフ間の相互理解がうまくとれている。

<課題>

- ・保護者へ欠席などの連絡を徹底したい。
- ・指導者の高齢化による人材の確保が必要である。

○活動の様子



学習の様子



夏期休暇中の学習活動

美馬小学校区放課後子供教室

開始年度	平成29年度	対象学校区・学年	美馬小学校 1～6年生	登録人数	132人
活動日数	年間150日	活動日・時間	月曜・火曜・水曜・金曜 放課から午後4時50分まで		
活動場所	美馬小学校 (会議室、体育館、図書室)		放課後児童クラブとの連携		連携型

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	PTA役員経験者(教員免許有)
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0	
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	6	地域住民
学 習 支 援 員	8	地域住民(教員免許有)
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

・レジンアクセサリー教室・手芸教室・工作教室・絵画教室・習字・硬筆教室
・卓球教室・ヴォルティスサッカー教室・SC美馬インパルスサッカー教室
・バレーボール教室・ティーボール教室

<工夫していること>

・季節に応じた手芸や工作を提供している。
・運動場が使用できないので室内遊びを充実させている。
・地域のスポーツクラブの指導者を招き、様々な運動が体験できる機会を設けている。

○成果と課題

<成果> ・児童の安全で安心できる場所を確保した。 ・異学年の交流ができた。 ・自主的に興味関心あるものに取り組んだ。 ・年2回運営委員会を開き、活動報告や収支報告、より安全な児童の居場所の確保を目的として取り組んだ。	<課題> ・スタッフの確保。 ・様々な感染症の集団感染防止の取組。 ・地震や火事、不審者など様々な災害を想定した訓練。
---	--

○活動の様子



ティーボール教室



サッカー教室

穴吹小学校区放課後子供教室

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	穴吹小学校 1～6年生	登録人数	56人
活動日数	年間 日	活動日・時間	火・木曜 14:00～17:00		
活動場所	穴吹小学校 余裕教室2部屋		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
地域学校協働活動推進員	1	教員免許所得者
協働活動リーダー	1	PTA役員経験者
協働活動サポーター	3	教員OB、PTA役員経験者
学習支援員	0	
ボランティア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・学習活動(宿題・自主勉強)
- ・手芸(編みもの・ポンポン作り)
- ・自由教室(ぬりえ・トランプ・かるた・将棋・囲碁・オセロ・UNO・折り紙)

<工夫していること>

- ・連絡帳を利用し保護者からの要望を確認し、退室の時刻をチェックしている。また、入退室の時刻を記入して児童に渡している。
- ・学年関係なく遊びながら学べる教材を利用し、飽きさせず楽しみながら学習できるようにしている。
- ・教室のルール(挨拶等)を遵守させ、学習態度も指導を行っている。

○成果と課題

<成果> ・児童が教室に毎回参加するのを楽しみにしてくれている。 ・違う学年との交流ができ学校でも良い関係が築けている。 ・保護者との情報共有ができています。 ・挨拶が元気よくできるようになった。	<課題> ・スタッフの高齢化に伴う人材の確保が必要。 ・災害時の学校側との連携強化。
--	--

○活動の様子



学習活動



自由活動

スポーツクラブ美馬放課後子供教室

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	美馬小学校1年生～6年生	登録人数	45人
活動日数	年間124日	活動日・時間	月曜 17:00～19:00 木曜 16:00～18:00 土曜 9:00～11:30		
活動場所	美馬小学校体育館 美馬市民グランド 旧重清東小学校		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	PTA役員経験者(教員免許有)
協 働 活 動 リ ー ダ ー	4	教員OB、教員免許所得者
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	8	教員OB、地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・学習活動(宿題、学習プリント)
- ・手芸教室
- ・読書 ・塗り絵 ・トランプ ・ウノ ・ブロック
- ・ドッジボール ・パトミントン ・おにごっこ ・なわとび
- ・バレーボール教室 ・野球教室

<工夫していること>

- ・学習内容の基礎が身につくような問題プリントを作成している。
- ・遊びながら学べる教材や本、クイズなどを準備し、楽しみながら学習できるようにしている。

○成果と課題

<成果> ・児童は、学習教材や本、知育玩具を活用して楽しく学習できるようになっている。	<課題> ・人整備材確保と環境。
--	---

○活動の様子



学習の様子



図書環境

小学生バドミントン放課後子供教室

開始年度	平成20年度	対象学校区・学年	美馬市内小学校 1～6年生	登録人数	8人
活動日数	年間140日	活動日・時間	木曜 15:30～17:30 土曜 10:00～12:00 日曜 18:00～20:00		
活動場所	三島小学校体育館		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	地域住民
協 働 活 動 リ ー ダ ー	1	地域住民
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	2	地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	3	保護者

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・バドミントンの練習
- ・県大会の参加
- ・交流大会の開催など

<工夫していること>

- ・安心・安全な活動ができるように地域の方と連携している。
- ・向上心を育むために積極的に公式戦へ参加する。

○成果と課題

<成果> ・競技の向上心を育成するため、練習方法の工夫をし、個々の課題を見つけてクリアできるように努めることができた。	<課題> ・挨拶やマナー、練習に携わってくださった方達への感謝の気持ちなどを意識づけていく必要がある。
--	--

○活動の様子



徳島県予選6年生以下
女子シングルス3位



あなぶきスポーツクラブ
バドミントン大会参加

穴吹ソフトテニス放課後子供教室

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	美馬市内小学校 1～6年生	登録人数	14人
活動日数	年間22日	活動日・時間	土曜 9:00～12:00		
活動場所	穴吹スポーツ広場テニスコート		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	2	美馬市スポーツ協会部員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0	
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	9	美馬市スポーツ協会部員
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・指導者や他校の児童との交流を図り、挨拶・礼儀等の指導。
- ・ソフトテニスを通じた、体力および技術力の向上。
- ・美馬市バンププラン事業に協賛。
- ・レクリエーション大会の開催。
- ・希望者は県大会等へ参加。

<工夫していること>

- ・大きな声で挨拶をする。
- ・技術、年齢に応じて段階的な指導をしている。
- ・練習前後にはストレッチを行い、けがの予防、体のケアに務めている。

○成果と課題

<成果> ・活動を通して、学校、学年が違う児童との交流ができています。 ・児童にとって安心・安全な場所作りができています。	<課題> ・指導者の確保が難しくなっている。 ・一人一人に係る負担が大きくなっている。
---	---

○活動の様子



ソフトテニス教室

うだつコミュニティスポーツクラブ放課後子供教室

開始年度	平成5年度	対象学校区・学年	美馬市内小学校 1～6年生	登録人数	26人
活動日数	年間41日	活動日・時間	土曜 9:00～12:00		
活動場所	うだつアリーナ		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	スポーツクラブ会長
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0	
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	9	
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	16	高校生

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・小学生1～6年生のミニバスケットボール教室
- ・中学校部活動地域移行に対応準備のため、教室卒業後の中学生への指導。
- ・脇町高校バスケットボール部との地域連携。
- ・スポーツクラブ主催イベント等への参加による地域・多世代間の交流。

<工夫していること>

- ・児童が高校生からアドバイスにもったり、イベント等により多世代間と交流したりすることにより、地域の中に溶け込んで地域連携の重要な部分になるように育成しています。

○成果と課題

<成果>

- ・バスケットボールの技術の向上。
- ・上級生が下級生へラダーのアドバイスしたり、準備体操を率先してするようになった。
- ・高校生が児童の良き相談相手として、技術面だけではなくところもフォローして、お互いに高め合っている。

<課題>

- ・児童の出席率が、後半になるほど悪くなっている。同時刻に他のスポーツ教室等へ参加しているためと思われる。この教室は対外試合を目的にしないので、目標が見つけにくいのが課題かなと思う。

○活動の様子



通常の子供教室活動



地域イベント
スポーツカーニバル

王地小学校放課後学習教室

開始年度	令和3年度	対象学校区・学年	王地小学校 5・6年生	登録人数	11人
活動日数	年間30日	活動日・時間	火曜 放課後1時間		
活動場所	王地小学校(多目的ホール)		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	0	
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0	
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0	
学 習 支 援 員	2	地域住民、教員OB
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

・当該学年の内容を中心に、国語・算数の復習を行っている。

<工夫していること>

- ・個々に応じた振り返り学習をプリントで行っている。
- ・学級の方で現在学習中の課題を、質問形式で指導できる体制を作っている。
- ・これまでの学年の学び直しができる教材を選択している。

○成果と課題

<成果>

- ・基礎的な学力の定着を目指しており、少しずつ国語の漢字力や算数の計算力がついてきている。
- ・児童が自身の課題を見つけ、進んで質問し取り組めるようになっている。

<課題>

- ・個々の能力差が大きいので、学習教材の準備に時間がかかる。
- ・教員OBの高齢化による、新たな人材の確保。

○活動の様子



個に応じた学習支援

様生放課後子ども教室

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	様生小学校 1～6年生	登録人数	13人
活動日数	年間96日	活動日・時間	月・水曜 15:00～17:00 木曜 15:00～16:00 土・日曜 不定期(主に午前中)		
活動場所	源内の里小屋掛け舞台、重末コミセン、西祖谷老人福祉センター会議室 他			放課後児童クラブとの連携	なし

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	人権擁護委員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	18	教員OB、地元住民、市職員OB、文化人
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	2	民生児童委員、教員OB
学 習 支 援 員	1	教員OB
ボ ラ ン テ ィ ア	25	民生児童委員、教員OB、他

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・学習教室 ・宿題教室 ・予習等自主学习
- ・平家琵琶鑑賞教室 ・スマホ携帯安全人権教室 ・茶道教室
- ・獅子太鼓教室(校区内に伝わる無形民俗文化財指定の獅子太鼓の練習及び交流発表)
- ・生け花教室(市文化協会西祖谷支部と連携して西祖谷文化まつりの会場を飾る)
- ・人権の花づくり教室(サルビアを育て命の尊さを学ぶと共に西祖谷文化まつりの会場を飾る)
- ・人形劇鑑賞教室(全国展開している「劇団バク」を招聘し人形劇の良さを知る)

<工夫していること>

- ・小学校との連携、協力を得て、各種教室が開催できたこと(生け花、スマホ携帯安全人権教室)
- ・市人権室の協力を得て、人権の花づくり教室が開催できたこと(サルビア栽培)
- ・スクールバス通学に合わせての茶道教室開催(効率よくお稽古できるため、2釜での実践)

○成果と課題

<成果> ・獅子太鼓教室活動により、伝統文化の継承に役立つことができた。 ・人形劇鑑賞教室が開催できた。 ・西祖谷文化まつりで「獅子太鼓」「生け花展示」の発表ができた。サルビアで会場を飾った。 ・スマホ携帯安全人権教室に参加できた。	<課題> ・児童数の減少により、伝統芸能の継承が難しくなってきた。 ・スクールバスの発車時刻が決まっているため、教室開催時間に制限が出てしまう。
--	--

○活動の様子



獅子太鼓発表会



学習の様子

上勝町放課後子供教室（小学生）

開始年度	平成28年度	対象学校区・学年	上勝小学校 1～6年生	登録人数	44人
活動日数	年間158日	活動日・時間	月・火・水・金曜 14:45～16:45		
活動場所	上勝小学校 多目的室		放課後児童クラブとの連携		連携型

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	教育長兼務
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0	
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0	
学 習 支 援 員	3	教師経験者等
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・宿題を中心とした学習指導
- ・個々の児童の学力に応じた学習指導
- ・国語、算数の課題プリントの実施（10分間）

<工夫していること>

- ・学習習慣の定着を図ることを目的としている。
- ・挨拶等の礼儀作法の徹底を通して、社会生活におけるルールを身につけることを目指して指導を行っている。
- ・学校行事との両立を図っている。

○成果と課題

<成果>

- ・特に低学年において、宿題以外の学習に積極的に取り組む児童がみられる。
- ・スタッフとのよりよい人間関係ができあがりつつある。

<課題>

- ・ほとんどの児童がスクールバスで通学しているため、冬場は時間の確保が難しい。
- ・長期休業日の実施が困難である。
- ・学習会参加児童以外の学習意欲が低い。

○活動の様子



石井小学校放課後子ども教室（スマイル）

開始年度	平成20年度	対象学校区・学年	石井小学校 1・2年生	登録人数	30人
活動日数	年間149日	活動日・時間	月・火・木・金曜 15:00～17:00		
活動場所	石井小学校 (図書館、体育館、運動場)		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 学 校 協 働 活 動 推 進 員	1	幼稚園教諭資格有
協 働 活 動 リ ー ダ ー	3	地域住民等
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	6	地域住民等
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・学習活動（宿題、ドリルなど）
- ・読み聞かせ
- ・スポーツ教室
- ・サッカー教室
- ・英語教室

<工夫していること>

- ・礼儀作法（あいさつをする、靴をそろえるなど）や学習態度（きちんと机に向かい、学習に取り組むなど）の指導も行っている。

○成果と課題

<成果> ・児童に安全で安心な居場所を提供できている。	<課題> ・新しい活動の充実。 ・働きやすい職場作り、ボランティア団体や地域の方々との積極的な協力体制の確立。 ・協働活動リーダーの拡充。
--	--



神山町	放課後子供教室
神山町放課後子ども教室	

開始年度	平成28年度	対象学校区・学年	神領小学校・広野小学校 1～6年生	登録人数	139人
活動日数	年間18日	活動日・時間	神領小学校 月1回木曜 14:20～15:20 広野小学校 月1回木曜 15:15～16:15		
活動場所	神領小学校・広野小学校		放課後児童クラブとの連携		校内 交流型

役 職 等	人 数	属 性 等
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	社会教育指導員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	7	活動内容に応じて教育委員会より依頼
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	11	協働活動リーダーから依頼
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

・ネイチャーゲーム ・木工教室 ・ダンス教室 ・サッカー	・バドミントン ・書道教室 ・ポッチャ
---	---

<工夫していること>

・子どもたちへの安全配慮。 ・イベント保険への加入。

○成果と課題

<成果> ・児童が学校や家庭ではできないような様々な体験活動や交流活動を行うことにより、体を動かすことに興味を持ったり、友達と協力したりすることの大切さを感じられる行動が見られた。 ・今年度より新しい取組を取り入れた結果、参加人数が増加した。	<課題> ・指導者の高齢化に伴う指導者の確保。 ・児童の安心安全な活動のため、特に屋外活動時の安全対策の充実。
---	---

○活動の様子



ポッチャ教室



サッカー教室

鷺敷子どもクラブ

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	鷺敷小学校 1～6年生	登録人数	76人
活動日数	年間220日	活動日・時間	月～金曜 14:20～18:00 長期休暇 8:00～18:00		
活動場所	鷺敷小学校体育館、鷺敷中央公民館 那賀町総合体育館		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	3	地域住民、行政関係者
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0	
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	5	地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・普段は宿題、自由遊び等を行っている。
- ・毎週木曜日は、スポーツ広場を開催している。
- ・長期休暇中は上記活動に加えてラジオ体操、プール遊び、外遊びなどを行っている。

<工夫していること>

- ・今年度より、スポーツを通じて健全育成を図るとともに、他地区の子どもクラブとの親交を深め共に協力し楽しく活動することを目的とし、毎週木曜日と長期休暇期間中はイベントとしてスポーツを行った。

○成果と課題

<成果> ・スポーツ広場を通して、他地区の子どもクラブの児童と親交を深め、共に協力し目標を達成することができた。	<課題> ・児童同士のけんかが数回発生し、その際の対応について課題が上がった。 ・管理員の不足が深刻であり、多方面への声かけや広報などでの周知を行っているが、成果がない。
---	---

○活動の様子



スポーツ広場（鷺敷・相生・木頭地区合同）

相生子どもクラブ

開始年度	平成21年度	対象学校区・学年	相生小学校 1～6年生	登録人数	56人
活動日数	年間220日	活動日・時間	月～金曜 15:00～18:00 長期休暇 8:00～18:00		
活動場所	相生体育館		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	2	地域住民、行政関係者
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0	
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	14	地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・普段は、宿題、自主勉強、自由遊び、掃除を行っている。
- ・今年度より、他地区子どもクラブと一緒にスポーツ広場に参加している。

<工夫していること>

- ・スポーツイベントを他地区子どもクラブと共に実施することで、参加日が少ない児童も参加できるようにしている。
- ・中学校と施設を共用しているため、挨拶をする、ルールを守るなどを指導している。

○成果と課題

<成果> ・スポーツ広場を通して、他地区子どもクラブの児童と協力し目標を達成できた。	<課題> ・児童の言葉遣いが良くない時がある（周りの大人に対して、児童間の関わりの中で）。 ・スタッフの確保をする。今年度は登録者の数は増えたが継続的に管理員をしてくれる人を増やす必要がある。
---	--

○活動の様子



課題学習



自由遊び

木頭子どもクラブ

開始年度	平成22年度	対象学校区・学年	木頭小学校 1～6年生	登録人数	16人
活動日数	年間220日	活動日・時間	月～金曜 15:00～18:00 長期休暇 13:00～18:00		
活動場所	木頭体育館及び木頭学園施設内		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	2	地域住民、行政関係者
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0	
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	5	地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・学校からの課題学習 ・玩具を使用した遊び
- ・お絵かき ・折り紙 ・工作 ・体育館及び屋外での運動
- ・虫取り体験 ・スポーツ広場（長期休暇期間中）

<工夫していること>

- ・登録人数が少なく、児童一人一人の様子がうかがえるので、それぞれにあった対応を心がけている。

○成果と課題

<成果> ・地域住民と児童との交流が図れている。	<課題> ・スタッフが足りず、長期休暇中に1日開催することができないため、スタッフの確保が必要である。
--	---

○活動の様子



体育館での運動



課題学習

牟岐町

放課後子供教室

牟岐町放課後子供教室（シラタマ学級・BG塾・婦人学級交流教室）

開始年度	平成10年度	対象学校区・学年	牟岐小学校 4～6年生	登録人数	45人
活動日数	年間15日	活動日・時間	シラタマ学級:月1回(土曜日)・3時間 BG塾:夏休みの5日間・7時間 婦人学級交流教室:夏休みの1日・3時間		
活動場所	牟岐小学校(多目的教室)、公民館他		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	牟岐町教育委員会(社会教育指導員)
協 働 活 動 リ ー ダ ー	2	牟岐町教育委員会(社会教育指導員)
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	34	教員OB、地域住民
学 習 支 援 員		
ボ ラ ン テ ィ ア		

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・地域学習
- ・料理教室
- ・自然体験
- ・手芸教室 等

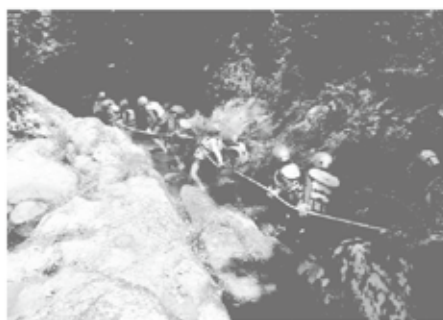
<工夫していること>

- ・季節に応じた行事を取り入れることで、児童が地域の人たちと一緒に楽しく主体的に活動できるようにしている。

○成果と課題

<成果>	<課題>
・児童の郷土愛の醸成に繋がった。 ・指導してくれる地域の人が元気になった。	・指導者の高齢化による人材の確保が必要である。

○活動の様子



自然体験



料理教室

海陽町放課後子供教室（海南子ども館）

開始年度	平成23年度	対象学校区・学年	海南小学校 1～6年生	登録人数	88人
活動日数	年間198日	活動日・時間	月～金曜 14:15～17:15		
活動場所	海南子ども館 海南小学校（校庭・体育館）		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 学 校 協 働 活 動 推 進 員	1	元行政職員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	1	養護教諭有資格者・地域住民
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	9	元教員・幼稚園教諭資格者・地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・学習活動（宿題、読書など） ・外遊び（ドッジボール、一輪車、自転車など）
- ・室内遊び（卓球、プラレールなど）
- ・イベント（工作教室、手芸教室、折り紙教室、お花教室、お茶教室）
- ・海南子ども館まつり（4年生が実行委員会になって運営）
- ・地震、津波避難訓練（学期に1回実施）

<工夫していること>

- ・何をするか自分で決めさせる。（自己決定力を育む）
- ・「子どもたちの自己肯定感を育む」にアプローチでできる活動、イベントを企画する（海南子ども館まつり等）
- ・海南小学校、教育委員会との情報交換、行動連携（月1回会議実施）

○成果と課題

<成果> ・児童の放課後の安心安全な場所づくりができた。 ・いろんな活動、イベントを通して「自己肯定感を育む」にアプローチできた。 ・海南小学校、教育委員会との情報交換、行動連携により、放課後の子どもたちの見守りができた。	<課題> ・特別な支援を要する児童の受け入れ。 ・徒歩帰宅児童の安全確保。 ・保護者迎え児童の安全確保。 ・施設、遊具の老朽化
--	---

○活動の様子



ドッジボール



折り紙教室

海陽町放課後子ども教室（海部っ子）

開始年度	平成28年度	対象学校区・学年	海南小学校 1～6年生	登録人数	42人
活動日数	年間198日	活動日・時間	月～金曜 14:15～17:15		
活動場所	奥浦老人福祉センター、奥浦町民グラウンド・体育館、海部小学校（体育館）		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 学 校 協 働 活 動 推 進 員	1	幼稚園教諭資格者
協 働 活 動 リ ー ダ ー	1	地域住民
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	10	元教員・地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	10	地域住民・高校生

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

・宿題 ・工作 ・折り紙 ・ボードゲーム ・カードゲーム ・将棋
 ・バドミントン ・スポンジテニス ・卓球 ・サッカー ・野球 ・フリスビー
 ・フラワーアレンジメント ・プラバン工作 ・アイロンビーズ
 ・海部高校生との交流活動 ・避難訓練

<工夫していること>

・天気の良い日はグラウンドでサッカーや鬼ごっこ、けいどろ、缶けり等、外遊びを思いっきりする。
 ・児童の興味や関心に合わせて楽しめる企画をしている。
 ・あいあいクラブや海部高校生、地域の方と交流し、児童に縦のつながり、地域とのつながりを感じてもらえたらと思っている。

○成果と課題

<成果> ・児童は自主的に宿題や遊び、様々な体験教室に取り組んでいる。 ・自分を表現するのが苦手で固まってしまう児童もいるが、様々な体験を通して自分を表現できるようになっている。	<課題> ・個人差、学年差に応じて、対応や支援の仕方が違うため、指導員の共通理解、情報交換が大切。 ・指導員の人材確保が課題。 ・雨天時の活動内容や活動場所の確保。
--	--

○活動の様子



夏まつり



スポーツ体験教室

海陽町放課後子ども教室（ドリームスクール鈴が峰）

開始年度	平成20年度	対象学校区・学年	海南小学校 1～6年生	登録人数	76人
活動日数	年間198日	活動日・時間	月～金曜 14:15～17:15		
活動場所	穴喰小学校（生活科室・図書室・図工室・多目的室・校庭・体育館）			放課後児童クラブとの連携	なし

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 学 校 協 働 活 動 推 進 員	1	元教員・委嘱あり
協 働 活 動 リ ー ダ ー	1	元塾講師・地域住民
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	11	元教員・元行政職員・地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・最初に所定の教室で宿題や自主学習を済ませ、その後、運動場（体育館）、多目的室、図書室等に移動して自由に活動する。
- ・コーディネーター、学習アドバイザー、安全管理人が児童の主体性を重視し、活動を見守っている。
- ・運動場では様々な遊具（総合遊具、鉄棒、一輪車、竹馬など）で遊び、ドッジボールやサッカーなどの集団遊びもしている。
- ・焼き芋大会、茶道教室、たこあげ大会などのイベントも行っている。

<工夫していること>

- ・児童の主体性を大切にしている。
- ・すすんで挨拶ができるように努めている。

○成果と課題

<成果> ・少しずつ、自分で考え行動できるようになってきている。 ・個人差は大きいですが、相手をいたわる言動が増えてきた。	<課題> ・個に応じた声かけと支援のあり方。 ・雨天時の活動場所への確保。 ・安全管理人の確保。
---	---

○活動の様子



宿題や自主学習をしている様子



運動場での自由遊び

北島わくわくキッズスクール

開始年度	平成21年度	対象学校区・学年	北島北小学校・北島小学校 北島南小学校・北島中学校	登録人数	35人
活動日数	各講座年間9日	活動日・時間	第1土曜 13:30～14:30 第2土曜 10:00～11:00 第3土曜 10:00～11:00 13:30～15:10		
活動場所	中央地区学習等供用施設		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	4	社会教育委員・教育委員会職員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	14	地域住民
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0	
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・手話講座
- ・囲碁講座
- ・折り紙講座
- ・パソコン講座

<工夫していること>

- ・できるだけ多くの児童が参加できるように、短時間で入れ替えを行っている。
- ・時間を短くすることで児童は講座に集中して取り組んでいる。
- ・児童が活動を通して学んだことを発表できる場を設けている。

○成果と課題

<成果> ・児童と地域の人々の交流ができた。	<課題> ・指導者の高齢化による人材の確保が困難である。 ・児童館受入児童の増加により、開設場所の確保が難しくなっている。
--	--

○活動の様子



手話講座



折り紙講座

板野町	放課後子供教室
板野町放課後子供教室「東っこ」	

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	板野東小学校・分校 1～6年	登録人数	335人
活動日数	年間53日	活動日・時間	木曜 15:00～16:15 第2水曜 14:45～15:30 第1または第3土曜 10:00～11:15		
活動場所	板野東小学校(体育館・講堂・図書室・図工室・家庭科室・会議室)分校(教室・体育館)		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	PTA役員経験者(地域住民)
協 働 活 動 リ ー ダ ー	4	地域住民
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	4	児童保護者・地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	6	児童保護者・地域住民

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・親子パステルアート ・マーブリング ・おはなし会 ・生け花 ・藍染め体験
- ・with老人会(輪投げ、空き缶釣り、ダーツ、羽つき) ・夏休みの宿題(習字、絵、サマワーク)
- ・まちがい探し&脳トレ
- ・スポーツ(バウンスボール、ファミリーバドミントン、ドッチビー、しっぽとり、ソフトバレーボール)
- ・季節の工作(紙粘土であじさい、風鈴、ぬりえてカレンダー作り、お月見、パステルでシャインマスクット、ハロウィン、クリスマス、ペットボトルでプレスレット、紙皿でブーメラン、ペットボトルでけん玉)
- ・食品ロス削減イベント(スタンプラリー・エシカル工作)【板野町消費生活相談所】

<工夫していること>

- ・始まりと終わりの挨拶は、きちんとする。
- ・季節に応じた工作を取り入れ、児童に興味や関心を持ってもらえるように企画し、工作とスポーツを交互に計画を立て、学年に応じた内容を実施している。
- ・低学年の参加が多い傾向があるため、わかりやすく説明したり、準備の段階での工夫などを行っている。

○成果と課題

<成果> ・スポーツも工作も多くの児童が楽しんで取り組む姿勢が見受けられる。 ・年齢に応じた内容にしている。 (工作の際、参加児童が多数の際は準備に時間を要する)	<課題> ・協働活動サポーター、ボランティアの方を少しでも確保することが課題。 ・参加人数や内容により、学年枠を考える。
---	--

○活動の様子



おはなし会



お月見工作



親子パステルアート

板野町放課後子供教室「西っこ」

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	板野西小学校 1～6年生	登録人数	98人
活動日数	年間43日	活動日・時間	毎週木曜 15:00～16:15 第3土曜 13:30～14:30		
活動場所	板野西小学校(体育館、空き教室) 西児童館		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	PTA役員経験者(地域住民)
協 働 活 動 リ ー ダ ー	5	地域住民
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	4	児童保護者、地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	4	児童保護者、地域住民

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・親子クッキング・工作(季節に応じた作品作り)・パステルアート・英会話
- ・地域の老人会の方との交流(射的、缶つりなど)・藍染め
- ・スポーツ(ニュースポーツ、長縄、ドッジビー)
- ・消費生活相談所の方の出張講座やエシカル工作
- ・板野町交通安全指導員による交通安全教室

<工夫していること>

- ・からだを動かすことが好きな児童が多く、座学とスポーツ活動の割合を考え計画している。
- ・児童の興味や関心に合わせ、楽しめるように企画をしている。
- ・始まりと終わりの挨拶を、きちんとする。

○成果と課題

<成果> ・児童と地域の方が交流する機会ができた。 ・学校や家庭でできないような活動を実施することで、新しい経験を通して興味の幅が広がり、考えながら協力する児童の姿が見られた。	<課題> ・サポーター、ボランティアの方が少ない。
--	--

○活動の様子



ミニパフェ作り



with老人会

板野町放課後子供教室「南っこ」

開始年度	19年度	対象学校区・学年	板野南小学校 1～6年生	登録人数	116人
活動日数	年間42日	活動日・時間	木曜 15:00～16:00		
活動場所	板野南小学校(体育館・図書室・理科室・家庭科室・会議室・運動場) 児童館、ふれあいプラザ、道の駅		放課後児童クラブとの連携		なし

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	3	PTA役員経験者・地域住民
協 働 活 動 リ ー ダ ー	8	保護者・地域住民・他地域住民・地域老人会・他地域ボランティアグループ
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	15	保護者・地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	1	保護者

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・地域の子育て世代住民を講師に招いて、生け花・英会話・絵画教室・サッカー教室など。
- ・地域のシニア世代を講師に招いて、将棋。
- ・地域の老人会とゲームやスポーツでの交流。
- ・消費生活相談所のエシカル消費ワークショップや、交通安全指導員による交通安全教室。
- ・地域の生産者を招いて、親子食育クッキング。
- ・地元の特産品藍染め体験。
- ・他地域のシニアボランティアグループを講師に招いて、ニュースポーツ。
- ・他地域のシニア世代を講師に招いて、機械の解体ショー・科学のお話など。

<工夫していること>

- ・地域コーディネーターが疲弊しないよう、地域活動リーダーに協力を仰いでいる。
- ・地域協カリーダーが沢山のやりがいを感じられるようにサポートしたり、負担軽減できるように考えている。
- ・地域協カリーダーの新しい人材発掘にも力を入れている。
- ・地域協カリーダーや協働活動サポーターが活動しやすい、活動を休みやすい環境づくりを目指している。

○成果と課題

<成果>

- ・昨年度に比べると、児童の参加態度が良くなったように感じる。
- ・講師のやりがいにも繋がるので、好循環が見込める。

<課題>

- ・持続可能な活動のためには、関わる人全員に「余白」が必要だと考えているので、余白を捻出できるように意識して活動する。

○活動の様子



親子クッキング



機械の解体ショー

つるぎ町放課後子ども教室

開始年度	平成27年度	対象学校区・学年	半田小学校・貞光小学校 1～6年生	登録人数	73人
活動日数	年間144日	活動日・時間	月～金曜 15:00～17:00		
活動場所	半田小学校体育館・貞光小学校体育館 半田公民館・貞光中央公民館		放課後児童クラブとの連携		連携型

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	行政職員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	11	教員OB・地域住民・外国人講師
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	1	地域住民
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・日本舞踊教室
- ・ヒップホップダンス教室
- ・英会話教室
- ・茶道教室
- ・将棋教室
- ・宿題支援
- ・ティーボール教室

<工夫していること>

- ・教室の内容や指導者と児童の様子などを把握するため、地域コーディネーターができるだけ多くの教室を巡回している。

○成果と課題

<成果>

- ・地域住民と児童との交流ができている。
- ・児童が様々な活動を体験することができている。
- ・児童クラブに所属していない児童も受講しており、子どもの居場所づくりに貢献できている。

<課題>

- ・受講する児童が多い教室でも指導者1名で活動している場合がある。今後においても指導者の確保が課題である。

○活動の様子



将棋教室



茶道教室

東みよし町放課後子ども教室（加茂小）

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	加茂小学校	登録人数	47人
活動日数	年間45日	活動日・時間	かもっこ読書広場 主に第1・第3金曜（月2、3回程度） 茶道教室、三味線教室 木曜（月1、2回程度） わくわく広場 水曜（月1回 1時間程度）		
活動場所	加茂小学校（教室、図書室、体育館）		放課後児童クラブとの連携		連携型

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	行政職員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0	
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	30	加茂小学校コミュニティースクール支援員
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・三味線教室（三味線の基本的な技術の指導）
- ・茶道教室（茶道における基本的な作法等の指導）
- ・わくわく広場（音楽活動、工作活動、運動等）
- ・かもっこ読書広場（子どもの読書の見守り）

<工夫していること>

活動に関わるサポーターの特技等を活用し、多種多様な活動を実施している。

○成果と課題

<成果>

- ・児童にとって安心安全な居場所づくりができています。

<課題>

- ・活動継続のためには、地域コーディネーターの存在が必要不可欠である。

○活動の様子



わくわく広場



茶道教室

東みよし町放課後子ども教室（三庄小）

開始年度	平成19年度	対象学校区・学年	三庄小学校	登録人数	24人
活動日数	年間12日	活動日・時間	毎月1回（第1または第3木曜） 活動時間 15:00～16:00、6月～2月		
活動場所	三庄小学校(体育館・やまももハウス)		放課後児童クラブとの連携		連携型

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	行政職員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0	
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	18	地元老人クラブ会員
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・昔ながらの遊び、ゲームの実施
- ・身近なものを利用した工作
- ・本の読み聞かせ

<工夫していること>

- ・活動内容は児童の趣味や特技を取り入れ活かしたものとなるよう、協働活動サポーターが調整している。
- ・児童にはあいさつをする、靴をそろえる等の指導を行い、マナー向上にも努めている。

○成果と課題

<成果> ・児童が普段の授業ではできないことを体験することができている。 ・活動の場が児童と地域の人々との交流の場となっている。	<課題> ・対象が低学年であるために、統率が難しく時間内に終われない時がある。
--	--

○活動の様子



紙芝居（やまももハウス）



ボール遊び（体育館）

地域ぐるみの学校支援事業

南井上小学校区地域学校協働本部

対象学校区	南井上小学校		
役職等	人数	属性等	
地域コーディネーター	1	南井上コミュニティ協議会会長	
協働活動リーダー	0		
協働活動サポーター	0		
学習支援員	0		
ボランティア	330	地域住民、教員OB	

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
80日	0日	10日	196日	0日	82日	12日

○活動について

<活動内容> ・絵本の読み聞かせ ・資源ごみ回収 ・朝の交通指導 ・部活動支援（金管バンド部） ・体育指導 ・各種講演会（人権・情報モラル等） ・地域学習（生活科・総合的な学習）等	<参加者の声> 児童 ・いつも読み聞かせを楽しみにしている。 ・コミュニティセンターの見学や防災学習、町探検や井戸寺でのお接待等、多くの人と関わる活動が楽しかった。 ボランティア ・今年度も学校行事で子どもたちと関わる回数が増えて嬉しい。 ・伝統ある南井上地区の良さも残しつつ、時代に応じた関わりを考えていきたい。 学校 ・学校運営協議会委員の方を中心として地域の方にご協力いただいていることに感謝している。
--	--

○成果と課題

<成果> ・スポーツ大会や防災についての授業等、今年も学校運営協議会委員の方のご意見を伺いながら、様々な学校行事を実施することができた。 ・今年度は地域や市青少年育成補導センターの方と通学路点検を実施し、危険な箇所を早急に改善していただくこともできた。今後も児童にとって安心・安全な学校作りに取り組んでいきたい。	<課題> ・次年度も学校運営協議会委員の方々からのご意見をいただきながら、児童にとって必要な学校行事や活動を精選し、児童の心の豊かな成長に繋げていきたい。 ・学習活動を通して児童と地域とのつながりをより深めるため、ボランティアしていただける方を広く地域に呼びかけていきたい。
---	--

○活動の様子



南井上敬老会での金管バンド演奏



読み聞かせ活動（高学年）

小松島中学校区地域学校協働本部

対象学校区	小松島中学校		
役 職 等	人数	属 性 等	
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	小松島市人権擁護委員	
協 働 活 動 リ ー ダ ー	6	地域住民	
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0		
学 習 支 援 員	0		
ボ ラ ン テ ィ ア	0		

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
0日	0日	0日	0日	0日	230日	24日

○活動について

<活動内容> ・部活動の支援(部活動支援員) ソフトテニス部、バスケ部、女子バレー部 ・校地内の花壇の整備(環境整備支援員) 花の植え替え、除草作業等	<参加者の声> <u>生徒</u> ・専門的な技術指導を受けることで、競技への取組意欲も高まり、それぞれの技能レベルに応じた的確な指導を受けることができる。 <u>保護者</u> ・学校の安全な部活動運営に、わが子を安心して任せることができている。
--	---

○成果と課題

<成果> ・国の推奨する地域部活動への移行を考慮し、地域の方々に支援してもらうことで、今後の部活動の在り方を探る手立てとなっている。また、部活動を通じて地域の子どもの生きがいや、やりがいにつながっている。	<課題> ・専門的指導者不足(種目によっては適任者が見つからない)。 ・部活動を支援員のみで任せられる体制づくりが必要(国が推進していこうとする学校から地域部活動への転換)。
--	--

○活動の様子



部活動支援活動(ソフトテニス部)



環境整備支援活動

小松島南中学校区地域学校協働本部

対象学校区	小松島南中学校		
役職等	人数	属性等	
地域コーディネーター	1	学校職員	
協働活動リーダー	1	地域住民	
協働活動サポーター	2団体	地域協力事業所 (JA東とくしま・徳島県キッチンカー協会)	
学習支援員	0		
ボランティア	0		

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
0日	2日	0日	0日	0日	230日	0日

○活動について

<活動内容> 【部活動支援】 ・バドミントン部の支援 ・専門的視点での技術指導を中心に支援 ・練習の意義やプレーの改善等の支援 ・競技を通しての協力体制の支援 【防災教育】 ・防災教育としての復興常備食の開発支援	<参加者の声> 【部活動支援】 <u>生徒</u> ・専門的な技術指導を受けることで、意欲的に取り組める。個人の技能レベルに応じてアドバイスをいただけるため、やる気がでる。 <u>保護者</u> ・安心して任せることができる。 【防災教育】 <u>生徒</u> ・主体的活動により地域に貢献できた。
--	--

○成果と課題

<成果> ・部活動の地域移行の観点から、今後の部活動のあり方を探る手立てとなっている。 ・専門的指導により、生徒の技能向上が図られた。 ・顧問の教職員の負担軽減につながった。 ・復興常備食の開発と広報活動として「防災フェア」への出演。	<課題> 【部活動】 ・他の部活動の専門的指導者の確保 ・単独で指導できる部活動指導員の増員 ・部活動場所の確保 【防災教育】 ・次年度につながる連携・支援体制づくり
--	--

○活動の様子



部活動の様子(バドミントン部指導)



「防災フェア」復興常備食の発表

江原中学校区地域学校協働本部

対象学校区	江原認定こども園・江原北小学校・江原南小学校・江原中学校	
役 職 等	人数	属 性 等
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	教員OB
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0	
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0	
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	247	

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
48日	0日	0日	8日	1日	0日	6日

○活動について

<活動内容>	<参加者の声>
・学習支援（キャリアを生かし授業等の補助） ・環境整備（情操教育、施設の安全管理） ・登下校安全指導（交通マナーの育成、安全指導） ・学校行事（規律や社会性を体験し、成果を発表） ・体験学習（職業体験、田植え、炭焼き等の体験）	・児童生徒の学習の広がりや深みが増した。 ・児童生徒・保護者・地域の人との共同作業の体験ができた。 ・生き生きとした登下校、マナー、規律が身についた。 ・生活に節目をつけ、大人びた生き方を体験した。 ・学校生活が社会とどう絡んでいるか理解した。

○成果と課題

<成果>	<課題>
・少人数の学校でもPTA、婦人会、老人会など地域の方が、学校の環境美化や運動会等の行事に参加している。 ・祭りや行事、或いは稲作などの協働体験学習が社会との交流を図りながら行われている。	・高齢化や地域の人口減少が、ボランティア希望者の減少に拍車をかけている。

○活動の様子



環境美化活動



交通立哨



田植え活動

脇町中学校区地域学校協働本部

対象学校区	脇町幼稚園・脇町小学校・脇町中学校		
役 職 等	人数	属 性 等	
地 域 学 校 協 働 活 動 推 進 員	1	委嘱あり	
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0		
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0		
学 習 支 援 員	0		
ボ ラ ン テ ィ ア	100	地域住民、PTA	

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
2日	0日	0日	149日	4日	0日	110日

○活動について

<活動内容> ・小学校図書室の本の修繕をした。 ・幼稚園、小学校に加えて、中学校2年生にも読み聞かせを秋から始めた。 ・小学校6年生家庭科の調理実習で補助に入った。	<参加者の声> ・本の修繕は児童の委員会活動の時間だけでは充分でなく、特に絵本の傷み方がひどかったので修繕できて良かった。 ・中学生への読み聞かせは本選びに気を使ったが、生徒はまじめに聞いてくれ安心した。
---	--

○成果と課題

<成果> ・本の修繕は児童も喜んでくれ、ボランティアの人たちも楽しんで取り組んでくれた。 ・読み聞かせは本選びに苦戦するが、児童生徒から元気をもらうことが多い。	<課題> ・だんだんとボランティアの活動が理解されてきているのではないかと感じるが、まだまだできることがあるだろうと考えている。
--	---

○活動の様子



本の修繕活動



愛園活動

岩倉中学校区地域学校協働本部

対象学校区	岩倉認定こども園・岩倉小学校・岩倉中学校	
	人数	属性等
地域コーディネーター	1	教員OB
協働活動リーダー	0	
協働活動サポーター	0	
学習支援員	0	
ボランティア	74	地域住民

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
41日	0日	0日	11日	0日	0日	1日

○活動について

<活動内容> <u>学習支援</u> ・読み聞かせ ・各種野菜の苗植え、畝づくり ・家庭科裁縫指導支援 <u>交通安全指導</u> ・児童登校時の交通安全指導 <u>環境整備</u> ・伐採樹木の搬出	<参加者の声> <u>児童・生徒</u> ・読み聞かせの時間が待ち遠しかった。 <u>ボランティア</u> ・子どもたちの生き生きした笑顔に癒された。 <u>学校</u> ・地域との連携の必要性を感じ、教育効果の向上に役立ち感謝している。
---	---

○成果と課題

<成果> ・昨年度より始めた小学校の読み聞かせに続き、本年度は認定こども園でも活動を始めた。それにより、児童や園児とボランティア会員が直接触れ合う機会をもつことができた。	<課題> ・ボランティア活動内容の効果的な周知。 ・会員の高齢化が進む中、更なる新規会員の確保をどうすればよいか。
--	---

○活動の様子



芋苗植え活動



伐採樹木の搬出



読み聞かせ活動

美馬中学校区地域学校協働本部

対象学校区	美馬認定こども園・美馬小学校・美馬中学校		
役 職 等	人数	属 性 等	
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	教員OB	
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0		
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0		
学 習 支 援 員	0		
ボ ラ ン テ ィ ア	74	地域住民等	

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
44日	0日	0日	20日	6日	0日	3日

○活動について

<活動内容> <u>学習支援</u> ・本の読み聞かせ(こども園、小学校) ・幼児の運動能力調査 ・リズムであそぼう ・交通安全教室補助(小学校) <u>環境整備等</u> ・田植え、稲刈り、七夕準備 ・今後の活動についての協議	<参加者の声> <u>児童・生徒</u> ・新しい物語等の本の読み聞かせが楽しみである。 <u>ボランティア</u> ・児童の生き生きした笑顔に心が和む。 <u>学校</u> ・児童の健やかな成長に役立っている。 ・地域との連携が深まり、スムーズな学校運営ができる。
---	--

○成果と課題

<成果> ・学校と地域との連携が深まり、風通しのよい学校運営に寄与できている。 ・専門知識を有する人に教わり、児童の成長に繋がっている。	<課題> ・多方面にわたるボランティアを増やしたい。 ・児童クラブとの連携を強化していきたい。
--	---

○活動の様子



ふれあいハイキング活動



読み聞かせ活動

三島中学校区地域学校協働本部

対象学校区	三島小学校・三島中学校	
役 職 等	人数	属 性 等
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	教員OB
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0	
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0	
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	70	地域住民等

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
6日	0日	2日	40日	4日	0日	5日

○活動について

<活動内容>	<参加者の声>
<u>学習支援</u> ・芋苗植え、田植え、芋掘り、稲刈り、団子作り等 <u>安全指導</u> ・登下校の安全指導、朝の交通指導等 <u>環境整備等</u> ・草刈り、通学路の整備等 <u>学校行事</u> ・もちつき大会、独居老人花のプレゼント等	<u>児童生徒</u> ・地域の方々の優しさや自分たちを見守ってくれていることを知った。 <u>ボランティア会員</u> ・交流を通じて、今まで体験してきたことや技術等を伝えることができた。 ・児童生徒の笑顔から元気をもらった。 <u>学校</u> ・学校行事や授業が円滑に進むと共に、地域との連携が深まった。

○成果と課題

<成果>	<課題>
・学校支援をすることにより、地域と学校の連携がより密になり、地域で子どもを育てる意識が高まった。 ・学校や児童生徒への理解が深まった。	・ボランティア活動を周知し、どのように会員を増やしていくか。 ・地域の人材を活用し、どのように学習支援につなげていくか。

○活動の様子



稲刈り体験学習



芋掘り体験学習



芋苗植え体験学習

穴吹中学校区地域学校協働本部

対象学校区	穴吹かもめこども園、穴吹小学校、穴吹中学校		
役 職 等	人数	属 性 等	
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	地域住民	
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0		
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0		
学 習 支 援 員	0		
ボ ラ ン テ ィ ア	63	教員OB、地域住民等	

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
68日	0日	0日	56日	29日	241日	38日

○活動について

<活動内容> <u>学習支援</u> ・読み聞かせ・書初め・芋苗植え収穫 ・田植え・稲刈り・手話教室 <u>登校の安全指導</u>（毎月1日・10日・20日） <u>学校行事オリエンテーリング</u> ・授業参観、穴中祭等の駐車場誘導 <u>部活動支援</u> ・男女ソフトテニス、バレーボール指導補助 <u>環境整備</u> ・運動場草刈り・剪定・花壇の整備	<参加者の声> <u>児童生徒</u> ・様々な本を取り上げてくれるので、読み聞かせが 楽しみ。 <u>ボランティア</u> ・児童生徒の元気な挨拶に心が和む。 ・やりがいを感じた。 <u>学校</u> ・学校行事や授業が円滑に進む。 ・児童生徒の健やかな成長に役立っている。
--	---

○成果と課題

<成果> ・学校支援をすることにより学校運営の負担が軽減され、生徒の快適な学校環境に役立った。 ・専門知識を有する人（手話、金融経済）に教わる ことにより学習支援に繋がっている。	<課題> ・ボランティアの固定化・高齢化が進んでいるので、 活動を周知し若い世代を取り込む必要がある。 ・PTA、諸団体など、学校に関わる組織との連携が 必要である。
--	--

○活動の様子



稲刈り



手話教室

美馬地域未来塾

対象学校区	美馬中学校		
役 職 等	人数	属 性 等	
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	教員OB	
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0		
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0		
学 習 支 援 員	8	教員OB	
ボ ラ ン テ ィ ア	0		

○活動の概要

地域未来塾	開始年度	対象学校区・学年	活動場所
	平成27年度	美馬中学校 1年生～3年生	美馬中学校 (生徒相談室・多目的教室等)
	活動日数	活動曜日・時間	登録人数
	30日	1・2年生 ノー部活デイ 15:30～17:00 夏季冬季休業日 10:30～12:00 3年生 水曜 15:30～17:00	1年生 26人 2年生 21人 3年生 14人

○活動について

<活動内容> 学習指導 ・国社数理英を中心に、基礎基本の定着を図る。 ・進路に合わせ、個別指導をする。 ・他県の過去の入試問題をやる。	<参加者の声> 生徒 ・個別指導で丁寧に教えてくれるのでよくわかり楽しい。 保護者 ・家庭学習の習慣が付き、前向きに取り組むようになった。 学校 ・生徒たちの健やかな成長に役立っている。 ・次年度も継続を望む。
---	--

○成果と課題

<成果> ・地域の教育力が生かされ、豊かな人間教育に繋がっている。 ・生徒の学習意欲の向上に寄与できている。 ・苦手な教科の理解に繋がっている。	<課題> ・コーディネーター後継者の不足。 ・参加者を増やしていきたい。 ・講師の確保。
--	--

○活動の様子



授業風景

三野中学校区地域学校協働本部

対象学校区	三野中学校・芝生小学校・王地小学校		
役職等	人数	属性等	
地域学校協働活動推進員	3	社会教育指導員	
協働活動リーダー	0		
協働活動サポーター	0		
学習支援員	0		
ボランティア	110	地元住民	

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
120日	0日	8日	419日	7日	0日	13日

○活動について

<活動内容> ・登下校時の安全指導見守り ・安全教室での指導 ・読み聞かせ・地層見学・三村用水見学 ・学習支援・ミシン指導 ・運動場の除草、草刈り・樹木の剪定	<参加者の声> <u>児童</u> ・毎月の読み聞かせが楽しみ。 ・登下校を見守ってもらえ、事故のないよう交通安全教室で学んだことを守っていきたい。 <u>ボランティア</u> ・児童生徒と触れ合えて、やりがいを感じる。 ・元気をもらっている。 <u>学校</u> ・色々な取組を進める上で、地域の方々の支援はなくてはならないもので有難い。
---	---

○成果と課題

<成果> ・地域の方々への感謝の思いが強まった。 ・周りの人を思いやる心情が育った。 ・より深く地域の行事を知ることができた。 ・地域の方と交流する事で子ども達の学びが豊かになっている。	<課題> ・指導者の高齢化と人数の減少による新たな人材の発掘。 ・図書室の司書教諭に替わるサポーターの確保。
--	---

○活動の様子



登下校時の安全指導見守り



ミシン指導

池田中学校区地域学校協働本部

対象学校区	池田中学校・池田小学校・三縄小学校・白地小学校・馬路小学校・箸蔵小学校		
役 職 等	人数	属 性 等	
地 域 学 校 協 働 活 動 推 進 員	4	社会教育指導員	
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0		
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0		
学 習 支 援 員	1	教員OB	
ボ ラ ン テ ィ ア	213	地元住民	

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
105日	18日	13日	423日	7日	190日	93日

○活動について

<活動内容> ・登下校時の安全指導 ・三世代交流安全運動 ・読み聞かせ ・フラワーガーデン ・郷土学習 ・キャリア学習 ・学習支援 ・昔遊び ・ポッチャ ・餅つき体験 ・田植え体験 ・環境整備 ・しめ縄作り	<参加者の声> ・支援により学習面では基礎学力、部活動では技術の向上につながっている。 ・地域の伝統をたくさん知ることができた。
---	---

○成果と課題

<成果> ・地元の伝統技術や故郷への愛着が深まった。 ・学校運営協議会制度の導入から4年目となり、ジオパーク学習などの取組が定着しつつある。 ・児童と地域の関わりがあることで、保護者の地域行事参加が促されている。	<課題> ・高齢化による人材の確保。 ・行事を統合したり行事の精選をしたりして、教員の負担を少なくする必要がある。 ・学校運営協議会やPTA役員会などで相談しながら開催を決定していくのが望ましい。 ・学校と支援をしてくださる方やCS委員との間に認識の違いが生じることがあるため、相互理解に努めることが必要である。
--	---

○活動の様子



稲刈り体験



書き初め

山城・西祖谷中学校区地域学校協働本部

対象学校区	山城中学校・西祖谷中学校・山城小学校・下名小学校・櫛生小学校		
役 職 等	人数	属 性 等	
地 域 学 校 協 働 活 動 推 進 員	1	社会教育指導員	
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0		
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0		
学 習 支 援 員	0		
ボ ラ ン テ ィ ア	230	地元住民	

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
39日	1日	6日	211日	5日	0日	15日

○活動について

<活動内容> ・読み聞かせ ・地域防災訓練 ・登校時の安全指導 ・ふるさと探訪 ・ジオ、フィールドワーク ・三世代交流 ・アルミ缶回収 ・運動会周辺の環境整備 ・神代踊の練習や祭りへの参加	<参加者の声> <u>児童生徒</u> ・絵本を読んでもらうのが貴重な時間。 ・自分事として災害を考えるようになった。 ・ふるさと学習等で地域の方と様々に交流することが楽しく、感謝をしている。 <u>保護者</u> ・ボランティアの方々のご支援のおかげで子ども達の成長を日々感じている。今後も子ども達の成長を見守っていただきたい。
--	--

○成果と課題

<成果> ・地域の方との関わりの中で生徒の心の成長が感じられるようになった。 ・ふるさとの良さを再確認でき、誇りに思う気持ちが高まった。 ・コミュニケーション能力が向上した。	<課題> ・指導者の高齢化による人材の確保。 ・文化財を継承していく人材の確保。 ・持続可能な計画や取組が必要である。
---	---

○活動の様子



神代踊り(祭りへの参加)



地域防災訓練

井川中学校区地域学校協働本部

対象学校区	井川中学校・西井川小学校・辻小学校		
役職等	人数	属性等	
地域学校協働活動推進員	2	社会教育指導員	
協働活動リーダー	0		
協働活動サポーター	0		
学習支援員	3	教員OB	
ボランティア	309	地元住民	

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
87日	1日	5日	122日	7日	0日	27日

○活動について

<活動内容> ・辻町探索 ・福祉体験学習 ・茜染め体験学習 ・読み聞かせ ・森林体験学習 ・三世代交流会 ・登下校時の交通安全指導 ・茶道教室 ・ママ司書 ・ミシン学習 ・プログラミング学習 ・除草作業	<参加者の声> ・地域の特性を生かして様々な体験活動を実施でき、改めて地域の良さを実感することができた。 ・児童生徒の学習意欲や教職員の指導力の向上につながった。
---	--

○成果と課題

<成果> ・地域学校協働活動推進員が学校と地域の橋渡しとなって、学校支援ボランティア協議会を開催している。 ・地域に支えられている事に気づき、周りの方たちへの感謝の気持ちが育っている。	<課題> ・指導者の確保。 ・学校とボランティア間での効果的な情報共有。 ・地域との連携は定着しているが、活動をコーディネートできる人材の育成が課題。
---	---

○活動の様子



森林体験学習



三世代交流会

東祖谷中学校区地域学校協働本部

対象学校区	東祖谷小学校・東祖谷中学校		
役 職 等	人数	属 性 等	
地 域 学 校 協 働 活 動 推 進 員	1	社会教育指導員	
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0		
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0		
学 習 支 援 員	0		
ボ ラ ン テ ィ ア	56	地元住民	

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
0日	0日	10日	0日	5日	0日	10日

○活動について

<活動内容> ・ごうしも、ヤツマタ、こんにゃくいもの植え付けと収穫、こんにゃく作り ・水源地の修繕と清掃 ・奉仕作業 ・書き初め指導 ・古里まなびや太鼓指導 ・校区探検学習での支援	<参加者の声> <u>学校</u> ・年間を通して東祖谷ならではの体験をさせて頂いて心から感謝している。 ・東祖谷地域の強い教育力を感じ、心強く思う。
--	---

○成果と課題

<成果> ・地域ボランティアの方々とふれあいを通して「ふるさと東祖谷」の魅力に気づくとともに、コミュニケーション力を高めることができた。	<課題> ・ボランティアの方々の高齢化が進み、活動内容によっては、協力して頂くことが難しい場合もある。 ・引き続き、学校運営協議会において、課題解決に向けた協議をしていく必要がある。
--	--

○活動の様子



ヤツマタ栽培体験(小学校)



こんにゃく芋の栽培体験(中学校)

三好地域未来塾

対象学校区	三好市内中学校・東みよし町内中学校		
役 職 等	人数	属 性 等	
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー (地域学校協働活動推進員)	0		
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0		
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0		
学 習 支 援 員	2	地域住民	
ポ ラ ン テ ィ ア	0		

○活動の概要

地域未来塾	開始年度	対象学校区・学年	活動場所
	平成11年度	三好郡市全域・全小中学生	三好市適応指導教室
	活動日数	活動曜日・時間	登録人数
	153日	月・火・木・金曜 9:00～14:00	18人

○活動について

<活動内容> ・個々に応じた学習(指導員の補助) ・体験学習、校外活動 (サードプレイス～楽食みのり～で、公認心理師の話を聞いたり、レクリエーションや調理実習を行ったりした。) ・講師を招いて命の学習 ・卒業生の激励会	<参加者の声> <u>生徒</u> ・自分のペースで通うことができる。 ・分からないことを質問しやすい。 ・家にこもらず、外に出ることができた。 <u>保護者</u> ・個別指導が受けられる。・生活のリズムができる。 <u>関係者</u> ・通える場所があり、他者とかかわることができる ところが良い。
---	---

○成果と課題

<成果> ・卒業生は、高校への進学ができた。 ・各小、中学校と連携の強化を図った。 ・生活のリズムや人とのつながりができ、学校へも通える日が増えた。 ・自己表現ができるようになった。	<課題> ・三好郡市は広域で、交通機関も少ないため、適応指導教室の利用が困難な生徒が見受けられる。 ・コミュニケーション力をあげる指導方法。 ・保護者のつながりづくりや、相談による支援ができていない。
--	--

○活動の様子



命の学習風景



校外活動

勝浦町学校支援地域本部

対象学校区	生比奈小学校・横瀬小学校・勝浦中学校	
役 職 等	人数	属 性 等
地 域 学 校 協 働 活 動 推 進 員	3	教員OB等
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0	
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0	
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	91	地域住民等

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
50日	0日	10日	166日	20日	0日	11日

○活動について

<活動内容> ・読み聞かせ ・田植え体験 ・みかん学習 ・手話教室 等 ・学校内の庭木の剪定 ・登下校見守りや付き添い	<参加者の声> 児童・生徒 地域の伝統に触れる良い機会だった。 ボランティア 楽しくやりがいになる。認知症予防になる。 学校 郷土学習は児童生徒の心に残っている。
---	---

○成果と課題

<成果> ・活動を通して、児童生徒と地域の方が交流する場となっている。	<課題> ・登録してくれているボランティアさんに幅広く活動してもらえよう工夫したい。 ・活動の周知により保護者の関心を高め、ボランティアへの参加を促していきたい。 ・ボランティアの高齢化による人材確保が困難である。
--	--

○活動の様子



田植え体験



しめ縄作り体験

上勝町放課後子供教室（中学生）

開始年度	平成27年度	対象学校区・学年	上勝中学校 1～3年生	登録人数	13人
活動日数	年間119日	活動日・時間	月・水・金曜 17:00～20:00		
活動場所	上勝中学校 多目的室		放課後児童クラブとの連携	連携なし	

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	教育長兼務
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0	
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0	
学 習 支 援 員	3	教師経験者等
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容や特徴的な活動等>

- ・国、数、英を中心に、授業の復習を行う。
- ・学校の宿題の確実な実施を目指し、時間を設けている。
- ・プロジェクターを用いて社会科、理科の教育映像を視聴している。

<工夫していること>

- ・学習習慣の定着を図ることを目的としている。
- ・挨拶等の礼儀作法の徹底を通して、社会生活におけるルールを身につけることを目指して指導を行っている。
- ・学校行事との両立を図っている。

○成果と課題

<成果>

- ・生徒の宿題の実施が確実に行われている。
- ・全体的には学校での学習方法が身につくところがある。
- ・テスト前の学習の要領が分かってきた。
- ・学習会に対する学校の評価も高くなってきた。
- ・参加生徒の割合が高くなっている。

<課題>

- ・生徒の学力差から個別対応に難がある。
- ・各種検定の対策やテスト対策等にも対応できるよう検討が必要。
- ・自由参加のため、低学力の生徒の参加が少ない。参加しやすい手法を検討する必要がある。
- ・学力上位生徒の対応を検討する必要がある。

○活動の様子



石井町地域ぐるみの学校支援事業運営委員会

対象学校区	石井中学校区・高浦中学校区	
役 職 等	人数	属 性 等
地 域 学 校 協 働 活 動 推 進 員	1	社会教育指導員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	2	地域住民
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0	
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
0日	0日	0日	0日	0日	134日	0日

○活動について

<活動内容> ・協働活動リーダー2名のうち1名は、石井中学校邦楽部及び高浦中学校音楽部にて「箏」の指導を行っている。もう1名は、石井中学校華道部で華道の指導を行っている。	<参加者の声> ・演奏会等のイベントにおける引率など、熱心に活動に取り組んでいただいている。
---	--

○成果と課題

<成果> ・協働活動リーダーの専門性を生かした指導を受け、生徒の技術が向上した。	<課題> ・各学校の要望に合わせた人材の確保。
--	---



松茂町地域学校協働本部

対象学校区	松茂幼稚園・喜来幼稚園・長原小学校・松茂小学校・喜来小学校・松茂中学校		
役 職 等	人数	属 性 等	
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	6	大学教授、行政職員、PTA等	
協 働 活 動 リ ー ダ ー	0		
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0		
学 習 支 援 員	0		
ボ ラ ン テ ィ ア	83	地域住民、大学生、高校生	

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
0日	14日	0日	0日	0日	0日	0日

○活動について

<活動内容> ・干し芋プロジェクト ・ゆめ・ミライ塾講演	<参加者の声> ・自分たちで育てて、収穫した芋がどのような味になるのか楽しみだ。 ・普段の授業では学べないことを講演で聞くことができた。
---	---

○成果と課題

<成果> ・干し芋プロジェクトのような授業外の活動を設けることで、生徒の自主性や積極性を育てるよい機会となった。 ・講演を通して将来への目標や課題について考える力が養われた。	<課題> ・主に関わっている教員が限られているため、異動の状況によっては活動が縮小したり無くなったりする可能性がある。 ・参加する児童生徒を増やすために、魅力ある活動をアピールする必要がある。
--	---

○活動の様子



干し芋プロジェクト



ゆめ・ミライ塾 講演

つるぎ町地域学校協働本部・つるぎ町地域未来塾

対象学校区	半田小学校・貞光小学校・半田中学校・貞光中学校	
役職等	人数	属性等
地域コーディネーター	1	行政職員
協働活動リーダー	3	地域住民
協働活動サポーター	0	
学習支援員	12	教員OB・元塾講師・地域住民
ボランティア	10	地域住民

○活動の概要

学習支援 授業等の補助	地域課題解決 まちづくり	地域人材育成 郷土学習	登下校の 安全指導	学校行事	部活動支援	環境整備 その他
0日	0日	0日	52日	1日	264日	0日

地域未来塾	開始年度	対象学校区・学年	活動場所
	平成27年度	半田中学校 1～3年 貞光中学校 1～3年	つるぎ町スポーツセンター つるぎ町就業改善センター
	活動日数	活動曜日・時間	登録人数
	36日	土曜 14:00～16:50	半田教室 14人 貞光教室 24人

○活動について

<活動内容> <u>地域未来塾</u> ・半田教室・貞光教室 <u>部活動支援</u> ・半田中学校剣道部・半田中学校音楽部 ・貞光中学校卓球部 <u>学校支援活動</u> ・半田小学校ふるさとたんけんウォークラリー	<参加者の声> ・学力向上につながっている。 ・部活動の専門的な指導をしてくれているので、嬉しい。 ・道路の横断時など、危険なところでも安心して探検することができた。
--	---

○成果と課題

<成果> ・地域未来塾受講生徒は意欲的に取り組めており、指導者も丁寧な指導で十分に役割を果たしてくれている。 ・部活動の指導者派遣は専門的な指導を行い、中学校部活動の地域移行に貢献できている。 ・ふるさとたんけんウォークラリーに参加することで、学校運営に寄与できたと考えられる。	<課題> ・地域未来塾の受講者数を増やすこと。 ・他の部活動指導者の確保。 ・地域学校協働本部として、さらに学校との連携を深めて活動すること。
---	---

○活動の様子



地域未来塾



ふるさとたんけんウォークラリー

週末等の教育支援体制構築事業

楽しく学ぶ絵画教室

開始年度	平成27年度	対象学校区	三好市内小学校	登録人数	21人
活動日数	10日	活動場所	三好市中央公民館等		

役 職 等	人数	属 性 等
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	行政職員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	1	教員OB
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0	
学 習 支 援 員	0	
ポ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容>

テーマに沿って、静物画・風景画・夏休みの課題等を水彩画で描いていく。

<工夫していること>

- ・学習意欲を引き出し、やり遂げたことへの達成感を感じ、自信を持つことができるように、作品展を開催している。
- ・児童が楽しく参加できるように、学校や地域と連携をとりながら年間計画を立案している。

<参加者の声>

児童

- ・他の学校の友達と交流ができた。学校では学ばない画法で作品を仕上げる事が出来た。

協働活動リーダー

- ・これまでの経験や、培ってきた知識・技能をいかす場が広がった。

学校

- ・土曜日の有意義な過ごし方の一つとして捉えている。

○成果と課題

<成果>

- ・学校と違った場所で他校児との交流が図られており、回を重ねるごとに意欲的に取り組む姿勢が見られる。
- ・コンクール等への入賞につながっている。

<課題>

- ・地理的要因から、参加児童の学区に偏りがある。
- ・学習内容、対象児童及び地域の拡大を検討課題としている。

○活動の様子



講義風景



静止画・風景画作成

松茂町子どもカルチャー教室

開始年度	平成15年度	対象学校区	松茂幼稚園・喜来幼稚園 長原小学校・松茂小学校 喜来小学校・松茂中学校	登録人数	39人
活動日数	年間9日	活動場所	松茂町総合会館		

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー (地域学校協働活動推進員)	0	
協 働 活 動 リ ー ダ ー	1	社会教育指導員
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	5	地域住民等
学 習 支 援 員	0	
ボ ラ ン テ ィ ア	0	

○活動について

<主な活動内容>

第1土曜日:茶道、折り紙

第3土曜日:将棋、生花、かるた(百人一首)

<工夫していること>

・個人ができるだけ多く活動に参加できるよう、柔軟な日程調整を可能にしている。

<参加者の声>

・学校以外でこのような体験ができる機会は少ないので、うれしい。

○成果と課題

<成果>

・幼稚園や学校ではできない体験を1年を通してできた。
・学年や所属の垣根を越えた関係者との交流が図れた。

<課題>

・指導者の高齢化による後継者の確保。
・参加者の確保・定着の工夫。

○活動の様子



将棋教室



かるた教室

城ノ内うっちーな体験塾

開始年度	平成28年度	対象学校区	城ノ内中等教育学校	登録人数	403人
活動日数	23日	活動場所	県内大学、施設		

役 職 等	人数	属 性 等
地 域 コ ー デ ィ ネ ー タ ー	1	本校職員
協 働 活 動 リ ー ダ ー	47	本校職員、学芸員、大学教授など
協 働 活 動 サ ポ ー タ ー	0	
学 習 支 援 員	0	
ポ ラ ン テ ィ ア	19	学芸員、大学教授など

○活動について

<主な活動内容>

- ・夏季休業日を利用して、徳島ガンバロウズの選手とスタッフによるバスケットボールクリニック講座や小説の書き方入門講座、金長まんじゅう製造工程見学ツアー、箏奏者による講座「箏の音色に魅せられて」、大学の施設、設備を使用した講座「コンピュータによる音楽制作と歌声合成」や「卓上プロジェクションマッピング」等、授業ではなかなか実施できない体験活動を中心に開講した。
- ・競技経験者である教員によるバレーボールや卓球、競泳、硬式野球等のスポーツ体験講座が開かれた。

<工夫していること>

- ・地元の大学や施設と連携し、多種多様な講座を開講することにより、夏季休業日を有意義に過ごすための学びの場、体験の場を提供している。
- ・教員は、担当教科や得意分野を生かした講座を開講することにより、負担軽減を図るとともに、研修の場としても活用できるようにしている。

<参加者の声>

- ・今まで独学で小説を書いていたが、講座でコツを学んだことで小説が書きやすくなった。今回学んだことを、これからの創作活動に活かしていきたい。
- ・箏の組み立て方や部分の名称など、実際に箏に触れて体験することで、より学ぶことができた。先生の演奏からは、普段上品な音色を奏でる箏のかっこいい音色を聞くことができ貴重な体験になり、さらに興味をもつことができた。
- ・試合では、先輩や後輩と交流ができてとても良い経験になった。

○成果と課題

<成果> ・自然や伝統文化、ものづくり、スポーツ等に対する興味関心を高め、知識を深めることができた。 ・スポーツに挑戦する良い機会となっている。 ・様々な職業の方との交流が、進路選択・職業選択の参考になっている。	<課題> ・生徒の興味関心に合う豊富な体験活動を提供するために、さらなる人材確保を目指し、地域の方々や地元企業、大学等の教育関連施設との連携強化が必要である。 ・教員にとっても興味深く学びの場となる一方、講師選定や日程調整等の事前準備には多少負担がかかる。
---	--

○活動の様子



箏の音色に魅せられて



コンピュータによる音楽制作と歌声合成

令和6年度実施 うっちーな体験塾 一覧

講座 番号	講座名と内容	実施場所	講座 番号	講座名と内容	実施場所
1	かがやく生き物を観察しよう!	理科室	12	競泳短距離講座	蔵本むつみ スイミング
2	藍のふしぎと藍染め体験	四国大学 藍の家	13	徳島ガンパロウズ バスケットボールクリニック	本校体育館
3	徳島銘菓「金長まんじゅう」 製造工程見学ツアー	ハレルヤ スイーツ キッチン (松茂町)	14	篆刻で姓名印をつくろう	本校書道室
4	ドローン体験	本校体育館	15	身近な川の水質は? 第2回ちゃぶちゃぶ河川水質調査会	園瀬川 (文化の森付近)
5	箏の音色に魅せられて	音楽室	16	"play watch enjoy" 卓球	体育館
6	楽しもう!ものづくり 「あなたのためのおべんとう」 コンクールに挑戦しよう	本校調理室 本校試食室	17	ボードゲームの攻略法を 数学的に考えよう! ～世界最古のボードゲームで～	北4A教室
7	楽しもう!ものづくり 「豊かな生活を創るアイデア バッグ」コンクールに挑戦しよう	本校試食室	18	ストローを使って 多面体を作ろう!	北4A教室
8	『子ども食堂』に行ってみませんか?	万代クレール (徳島市万代町)	19	動物園探検隊 2024	とくしま動物園
9	小説の書き方入門 (めざせ!文学賞!!)	本校教室	20	バレーボール教室	本校体育館
10	初めての 卓上プロジェクション・マッピング	四国大学 藍の家	21	昆虫について学ぼう!	徳島県立博物館
11	日本の諸地域を学ぼう 「桃太郎電鉄～教育版～」を使って	22HR教室	22	硬式野球体験講座	本校グラウンド

資料

令和6年度「コミュニティ・スクールと
地域学校協働活動の一体的推進」に係る
文部科学大臣表彰

基本情報

学校

徳島県立板野支援学校

学校運営協議会

徳島県立板野支援学校
学校運営協議会

令和3年4月26日 設置

委員構成

大学教員
社会福祉法人役員
県相談支援専門員
医療関係
地域住民・人権擁護委員
保護者・PTA関係者
校長
など 8名（令和6年度）

会議回数

年間平均3回程度

地域学校協議活動推進員等数
（ ）は内、学校運営協議会委員数

地域学校協議活動推進員 0名（0名）

地域コーディネーター 4名（3名）

地域学校協議本部

徳島県立板野支援学校
地域学校協議本部

背景・取組概要

- ◆ **学校教育目標** 児童生徒一人一人の人格を尊重し、教育的ニーズに応じた指導をおして豊かな生活を支援するとともに、積極的に社会に関わり、自己実現をめざす人間を育成する。
- ◆ **学習指導要領**では、特別支援学校においても「社会に開かれた教育課程」を実現することで、地域や保護者とさらに連携を深め地域とともに児童生徒を育成することが求められている。そこで、学校運営協議会を設置して、地域や関係機関との双方向の情報共有を進めて児童生徒の教育活動を地域に広げ、地域での役割を積極的に担うように取組を広げていく必要があった。
→これからの特別支援学校の在り方として、「地域に教育課程を開き、児童生徒が地域の資源を生かしたり、地域のよさを発揮したりする役割を担うことができる特別支援学校」を目指していく。

工夫・ポイント・特徴的な取組

◆ 学校運営協議会

板野支援学校では、令和3年度の学校運営協議会設置当初より、①安全・安心な学校づくり、②児童生徒に
応じた教育活動、③保護者や関係機関等と連携した教育の推進等、学校運営協議会委員から、地域資源の活
用を中心に、「学校重点目標」に沿った様々な取組案や連携先等の紹介・提言を受け、学校運営に努めてきた。

令和4年度の学校運営協議会で、学校近隣の畑で、地域の特産であるが、「規格外」として処分されている
状況のにんじん活用が話題となった。委員より「規格外」にんじんを、無償提供いただけた地域の農園や、にんじん
をパウダー化できる設備がある他の福祉事業所の紹介があった。

◆ 地域学校協議活動

「廃棄にんじんを救おう チャレンジ！」の名称で、令和5年度より「規格外にんじん」再生の活動を始めた。

さらに、他の福祉事業所よりパティシエを派遣いただき、生徒と共に「パウダー化した「規格外にんじん」のレシピを開発
して、校内のカフェで、にんじんスイーツの試作品を紹介した。

令和5年12月には、近隣の道の駅「いたの」を会場として、にんじんパウダーを用いて調理したスーパースタ
130食、にんじんクッキー50個を提供するイベントを開催できた。イベント当日は、生徒が一人一台端末で制作
したポスターを掲示したり、これまで「規格外にんじん」の再生に取り組んできた生徒の様子を、県のキッチンカー
「でり・ばりキッチン阿波ふんど号」のモニターで紹介したりすることでも、地域住民をはじめとする多くの方に特別支
援学校の理解・啓発を進める機会ともなった。

令和6年度には、「規格外にんじんを救おうプロジェクト！～Let's REBORN 板野支援学校～」と取組
を改称し、中学部生徒も活動に参加して、学校全体の取組として進めているところである。

成果・効果

- ◆ 学校所在地である板野町の特産であるが、処分されてきた「規格外にんじん」の活用方策が、学校運営
協議会が発端となり、また、生徒の主体的な活動を通して、「規格外にんじん」の収穫・調理・加工、さらに
道の駅「いたの」での提供へと、学校と地域がこれまで以上に協働するようになった。
- ◆ 地域住民を含む委員のネットワークを生かして、学校の取組に協力いただけた農園や福祉事業所、また
道の駅等を紹介いただき、生徒が役割を担いながら地域特産物のよさを改めて学ぶ機会となった。



基本情報

学校

三好市立池田中学校

学校運営協議会

池田中学校学校運営協議会

令和3年4月1日 設置

委員構成

地域コーディネーター
保護者・PTA関係者
公民館関係者
地域団体（青年会議所）
地域住民（元教員など）
小学校関係者
教職員

11名

会議回数

年間平均3回程度

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働活動推進員 3名 (3名)

地域コーディネーター 0名 (0名)

地域学校協働本部

池田中学校サポーターズクラブ

背景・取組概要

本校がある三好市は、徳島県西部に位置し、過疎や少子高齢化により、人口減少が著しい地域である。そのような地域において持続可能な地域づくりを考えると、主体的に行動できる生徒の育成を目指す取組が必要であると考えた。

『ジオパークとSDGsによる人と環境にやさしい学校』を目指す

工夫・ポイント・特徴的な取組

◆学校運営協議会

年に3回開催しており、そのうち1回は授業を参観し、生徒の様子について意見交換をする。直近のテーマは、○ポジティブな行動支援の取組、○学校支援活動、○地域と連携した取組などである。小学校関係者が委員に加わったため、小中学校の連携についても今まで以上に検討していくこととなった。

◆地域学校協働活動

三好市が推進しているジオパーク構想と連携した、郷土学習や防災学習を推進し、行政や防災士会など、地域と連携・協働した取組を進めている。フィールドワークを含めたジオパーク学習の学びから、毎月25日を「池田城の日」と定め、学校周辺の史跡の清掃活動を生徒と教職員が行っている。

◆コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施

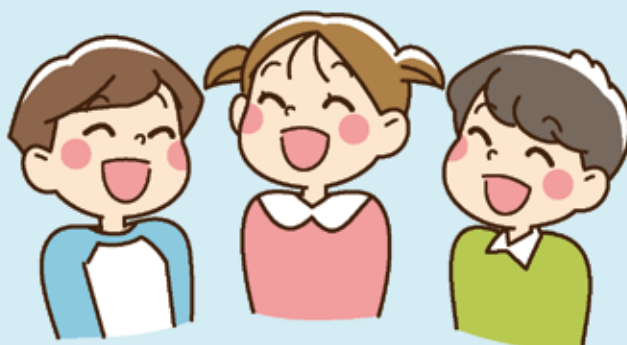
地域学校協働本部のコーディネーター（地域学校協働活動推進員）が学校運営協議会委員となっており、学校のニーズに応じた支援活動につながるよう、ボランティアに声をかけしコーディネートしている。コーディネーターの中には、公民館関係者もあり、公民館の講座参加者にも学校のニーズを説明し、支援活動の拡充につなげている。



成果・効果

◆三好市が推進するジオパーク構想と学校の郷土学習のねらいがマッチし、学校と地域の連携・協働により地域を大切にしている態度や誇りに思う態度が養われており、持続可能な地域づくりについて、主体的に考え、行動しようとする力がついてきている。〈生徒の感想〉

知らなかった昔のこと等を知ることができてよかった。いろいろなイベントに積極的に参加して、さらに三好市の伝統を知り、その伝統を次の世代に伝え、三好市に少しでも興味をもってもらえるようにしていきたい。



**令和6年度
「地域と学校の連携・協働強化事業」
活動報告書**

放課後子供教室推進事業
地域ぐるみの学校支援事業
(地域学校協働本部・地域未来塾)
週末等の教育支援体制構築事業

令和7年3月 発行
徳島県教育委員会生涯学習課
電話：088－621－3147
ファクシミリ：088－621－2884